

社会福祉法人 長幼会

平成 3 0 年度 事業報告書

目 次

1	はじめに	1
2	法人運営の持続的発展に向けた取り組み	1
3	法人本部機能の強化	3
4	事業ならびにその運営状況	5
5	理事・監事・評議員	6
6	理事会の開催状況	6
7	評議員会の開催状況	8
8	各種委員会	9
9	保育所の運営方針、保育目標	10
10	すくすく保育園事業報告	14
11	千丸台保育園事業報告	25
12	横浜みなとみらい保育園事業報告	33
13	玉川保育園事業報告	44
14	新井小学校放課後キッズクラブ事業報告	53

はじめに

社会福祉法人長幼会は、平成 12 年 10 月 6 日の設立以降、横浜市都筑区大圃町に「すくすく保育園」を開園後、現在では横浜市内に 3 園、川崎市内に 1 園の認可保育園を有し、放課後児童健全育成事業運営までに事業が広がりつつあります。また、法人に勤務する職員数も 190 名を超える規模となり、法人が果たすべき社会的責任と役割は益々大きなものになってきたと言わざるを得ません。

平成 30 年度は、改正社会福祉法施行から 2 年目を迎え、社会福祉法人長幼会として昨年度以降、取り組んできた本部機能をさらに発展させるなかで、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上に向けた取り組み、財務規律の強化、地域における公益的な取り組み等、これら課題の解決に向け積極的に取り組み、長幼会の持続的発展を可能とする礎の年度として事業を推進してきました。

I 法人運営の持続的発展に向けた取り組み

【経営組織のガバナンスの強化】

1. 評議員会と理事会、相互の役割を明確にする中で、業務執行に係る課題は理事会、経営課題や短・中期に係る方針等の確認は評議員会と、法人の持続的な発展に向けて事業の推進、会議運営に取り組んできました。
2. 法人本部機能の強化と部局の設置
法人本部をホールディングカンパニーとして、法人機能を集約するための機構改革に向けて検討を進めてきましたが、委託費における弾力運用との関係やリソースとしての職員充足率の低下などにより、具体的な部門の設置までには至りませんでした。

【事業運営の透明性の向上に向けた取り組み】

1. 閲覧対象書類の拡大に伴う法人各事業の情報発信の在り方について整理・検討を進める
 - ・事業報告、事業計画、財務諸表、現況報告書、役員報酬基準等の公表に係る規定の整備を行い、法人ホームページ上で公表してきました。
 - ・法人ホームページとは別に職員採用に向けた専用のホームページを開設し、採用におけるコンプライアンスの遵守に努めてきました。
 - ・広報誌の活用等については、法人・各園のパンフレットを作成し、各養成校訪問時や研修、実習生受入時に長幼会の理解を深める資料として活用してきました。
2. 法制度の改定に伴う速やかな対応を図ります。
 - ・平成 30 年 10 月の最低賃金改定に対する給与規程の見直し、非常勤職員の時給改訂等を実施してきました。
 - ・平成 31 年 4 月 1 日から施行される働き方改革等に向けて、定年年齢を現行 60 歳から 65 歳へ改定し、人材の活用に向け取り組んできました。

3. 第三者評価の定期的受審

- ・所轄庁による第三者評価機関の見直しも考慮し、定期的受審に向けて準備を進めてきました。
- ・自己評価については、園評価と職員評価の両面から行い、各園の自己評価結果について法人ホームページにて公表してきました。

【財務規律・基盤の強化】

1. 社会福祉法人会計基準に基づく会計手法の構築と関係諸規程の整備と運用

- ・経理規程の整備として、適正かつ公正な支出管理の確保、会計処理手法について会計基準に基づく処理を行うとともに、税理士法人アイパートナーズと委託契約を行い、毎月、事業全体の監査と月次処理の確認を行ってきました。
- ・役員報酬基準を作成しホームページ上で公開しました。

【地域における公益的な取り組みの推進】

1. 地域における公益的な取り組みを実施する責務とは、改正社会福祉法第 24 条②の規定で「社会福祉充実残額」のない法人にも求められます。ここで定義されている事業とは、

- ・社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること
- ・日常生活または社会生活上の支援を必要とするものに対する福祉サービスであること
- ・無料または低額な料金で提供されること

等、のすべての要件を満たす必要があり、法人の事業を振り返ることから検討を進めてきましたが、社会福祉充実計画を策定するまでには至りませんでした。

【新たな事業の開拓に向けた調査と検討】

- ・行政市が公募する民間事業者活用型保育所整備法人の選定に向けて取り組みを進めてきました。今年度は、横浜市・川崎市における公設民営化のスケジュールが示されたことから、法人として地域における公的な取り組みに繋がる民営化移管園に対し応募することを確認し、準備をすすめてきました。
- ・地域型保育事業における連携施設として、川崎市平間にある家庭的保育室やまんちとの園医による健診や給食の提供等を玉川保育園が引き続き行ってきました。

【職員の資質の向上・定着に向けた取り組み】

法人の理念や目的を遂行し、事業を順調に運営していけるか否かの鍵は、法人で働く職員（保育士）個々の資質にあることを基本に、人材育成の観点から職員個々の資質の向上、モチベーションの維持・向上に向けた人事労務管理の手法を検討してきました。

1. 処遇制度の見直し

(1)年 2 回の個人面接時に人事評価表に基づく目標の確認を職員・上司双方で行い、半期ごとに達成度について確認を行うことにより処遇に反映する。その基本となる人事考課表、面接の手法について検討を進めてきました。今年度は人事評価システムとして自己観察シートに基づく目

標管理の準備を進めてきました。平成 31 年度から導入予定です。

(2)職員の定着に向け、より納得性の高い人事評価制度を構築し、やりがい、働きがいのある法人を目指す。キャリアパス制度の導入に向け、人事評価評価システムの検討を進めてきました。

- ・キャリアパス制度の導入と職務・賃金処遇の在り方について検討

社会福祉法人長幼会としての職位階層（キャリア）別に求められる資質表を作成し、職員処遇に反映してきました。

- ・職員処遇改善等加算Ⅱ及び職員処遇改善費の所轄庁への申請と実施

昨年に引き続き保育士等処遇改善加算Ⅱの申請に向けた対応を検討してきましたが、今年度は横浜市として、職員処遇改善費が新たに追加され、経験年数や職種間での不公平感については緩和されたことから職員処遇改善等加算Ⅱ及び職員処遇改善費の申請を行い、平成 30 年度 4 月に遡り職員の処遇を改善しました。

(3)福利厚生制度の充実

- ・職員の将来設計に向けた、人事処遇制度の検討を進めてきましたが、結論を得るまで至っていません。引き続き検討していきます。
- ・職員の住宅費負担の軽減や地方の転居を必要とする採用者などに向けて借上げ社宅制度を今年度導入しました。また、関連する規程についても整備をしました。
- ・総合福祉団体定期保険・医療保障保険・退職金制度における被保険者からの申請・給付に対する業務を遅滞なく行ってきました。当該年度中に 3 名の職員が保険適用となり、職員の医療費負担軽減に寄与しました。

(4)職員採用に向けた取り組み

保育の担い手である職員の確保は喫緊の課題であり、都度の採用はもとより定期的な採用計画が事業運営には欠かせません。近隣保育士養成校への訪問や地方採用を進めることから地方紙への保育士採用募集広告を行いました。

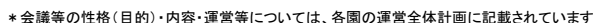
また、採用専用の WEB サイトを作成し、公開をしました。当 WEB サイトを利用して愛媛県、山形県の養成校の学生の見学につながりました。今後は法人ホームページとの連携を図り閲覧の機会を増やすための方策を検討していきます。

Ⅱ 法人本部機能の強化

【法人本部の設置と機能】

1. 本部機能との関係については、理事会（業務執行機関）・理事長・法人本部をまとめ、法人本部を理事（執行役員）・本部事務局員からの構成とし、社会福祉法人長幼会に新たな事業所として本部を設置する。法人本部には、本部長、事務局長、顧問、職員を置き、理事長は本部を代表する。ことを明確にし、ガバナンスの強化に努めてきました。

平成31年4月現在



4

【内部管理体制の構築】

1. 法人本部機能の確立

- ・法人全体をグループ経営の視点で捉え、現場である施設・地区や法人本部の階層ごとの役割や責任を明確にする。法人本部には業務処理を脱却し、法人全体を俯瞰した企画管理業務を担わせ、中長期的な観点から法人改革や成長戦略策定、採用や人事管理・育成などの課題に対応することとしました。

2. 各施設（拠点）の管理監督業務の確立

- ・事業部門の管理単位を新会計制度に対応して拠点区分とし、施設長がマネジメント業務に対応できるように、リーダー層への権限委譲を意識してリーダー層を育成する。同時に業務の標準化を進め、マニュアル作成などの仕組みづくり、職員の意識の変革に取り組みました。
- ・常に管理者（役員・施設長）として組織の運営・維持を念頭におき、自覚と責任を持ち、管理者間の意思統一、共通理解を図ることとしました。（「報告・連絡・相談」のしやすい環境を整える。）

3. 事業統括機能の確立

- ・制度の異なる事業ごとに制度遵守や業務品質、教育などの観点から事業を制度横断的に管理する横ぐし機能確立し、業務の適切性を確保するほか、教育の実施や業務監査対応を行うことから新たに本部機能を明確化し各事業の支援につながる体制としました。

Ⅲ 事業ならびにその運営状況

定款の定める本法人事業目的達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブを運営しました。

平成 30 年度の特徴は、社会福祉法の一部改正に伴う対応として、所轄庁からの指示に基づき、ガバナンスの強化に向け、機関決定のあり方や本部機能の強化に基づく本部の設置、法制度改正に伴う関係規程の見直し等、事務手続きのあり方含めて改正福祉法への環境整備に努めてきました。

とりわけ社会福祉法の改正に伴う対応は、当然のことながらその改正の目的趣旨に沿った対応が必要となることから、目的として示された一つひとつの項目について、本部の設置に伴う企画準備会や企画運営会議等の場で検討を進め、確認の必要な項目については、理事会での確認を行いつつ進めてきました。

事業の透明性の観点からは、前年度から検討を進めてきた経理規程の見直し、役員報酬基準の見直しや関連する書類の整備を踏まえて、事業報告や計算書類等を各事業所へ備え置きし、閲覧に供するほか長幼会ホームページ上にて公開・公表してきました。

財務規律の強化については、社会福祉充実残額について該当しないものの、社会福祉法人として社会福祉充実計画に向け、法人としてできることについて、所轄庁からの調査への対応や新たな事業の可能性についても検討をしてきました。

施設内整備としては、各園の経年劣化に伴う不具合が建物・設備で生じていることから安全面を優先し、修繕を行うとともに、園庭遊具の更新等を行ってきました。

【平成 30 年度施設利用状況】

施設名	利用状況			
	定員	1日平均利用者数（人）	年間利用者数（人）	年間利用率（％）
すくすく保育園	60	54.1	15,808	77.5
千丸台保育園	100	73.3	21,428	73.3
横浜みなとみらい保育園	120	104.0	30,382	78.8
玉川保育園	135	100.7	29,693	75.0
新井小学校放課後キッズクラブ	78	92.2	22,313	---
計	493	424.3	119,624	76.15

Ⅳ 理事・監事・評議員

平成 30 年度の理事（6 名）、監事（2 名）、評議員（7 名）は次の通りです。

理 事 長 水野 恭一

業務執理事 水野 尊仁

理 事 林 浩子 相原 陽子 木下 かおり 小林 純子

監 事 佐野 忠昭 太田 正行

評 議 員 高橋 今朝次 飯田 嘉雄 栗原 泰光 箕輪 高博

八木下 和雄 田中 千津子 澤 信一

※退任評議員 天野國秀（平成30年10月31日）

Ⅴ 理事会の開催状況

定款第 5 章に定める各条項に基づき、下記の理事会を開催しました。

(1) 第 1 回理事会 平成 30 年 5 月 31 日（火） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出 席 者： 6 名（全理事出席）

監 事： 2 名

法 人 職 員： 2 名

議 事：第一号議案 平成 29 年度事業報告に関する件

第二号議案 平成 29 年度決算並びに監事監査報告に関する件

第三号議案 平成 30 年度予算の確認に関する件

報 告 事 項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

- (2) 第2回理事会 平成30年 9月 3日(月) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」
出席者: 6名 (全員出席)
監事: 2名
法人職員: 2名
議事: 第一号議案 処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ及び職員処遇改善費取扱運営細則の制定及び給与規程の一部改訂に関する件
第二号議案 非常勤職員の時給見直し及び非常勤職員就業規則の一部改訂に関する件
第三号議案 公印管理規程の制定に関する件
第四号議案 平成30年度定時評議員会招集に関する件
報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- (3) 第3回理事会 平成30年11月27日(火) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」
※理事会招集及び決議省略の手続きに基づく理事会
出席者数: 8名(理事全員の同意・監事全員の異義なし)
理事: 6名
監事: 2名
議事: 第一号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の確認と推薦に関する件
- (4) 第4回理事会 平成30年12月11日(火) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」
※理事会招集及び決議省略の手続きに基づく理事会
出席者数: 8名(理事全員の同意・監事全員の異義なし)
理事: 6名
監事: 2名
議事: 第一号議案 評議員の確認に関する件(評議員選任・解任委員会報告)
第二号議案 平成30年度第2回評議員会の招集に関する件
- (5) 第5回理事会 平成31年 2月28日(木) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」
出席者数: 理事・監事全員出席(8名)
理事: 6名
監事: 2名
議事: 第一号議案 平成30年度第4四半期補正予算(案)に関する件
第二号議案 平成31年度事業計画(案)に関する件
第三号議案 平成31年度予算(案)に関する件
第四号議案 社会福祉法人長幼会 定款の一変更に関する件
第五号議案 定年延長(就業規則の一改正)に関する件

報 告 事 項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

VI 評議員会の開催状況

定款第 3 章に定める各条項に基づき、下記の評議員会を開催しました。

- (1) 定時評議員会 平成 30 年 6 月 21 日(木) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数: 12 名(欠席評議員 1 名)

評 議 員: 6 名

監 事: 2 名

理 事: 2 名(理事長・業務執行理事)

法人職員: 2 名

議 事: 第一号議案 平成 29 年度事業報告に関する件

第二号議案 平成 29 年度決算及び監事監査報告に関する件

第三号議案 平成 30 年度予算の確認に関する件

その他 一般経過報告

- (2) 第 1 回評議員会 平成 30 年 10 月 18 日(木) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数: 12 名(欠席評議員 1 名)

評 議 員: 6 名

監 事: 2 名

理 事: 2 名(理事長・業務執行理事)

法人職員: 2 名

議 事: 第一号議案 処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ及び処遇改善費取扱運営細則の制定及び給
与規程の一部改定に関する件

第二号議案 非常勤職員の時見直し及び非常勤職員就業規則の一部改訂に関す
件

第三号議案 公印管理規程の制定に関する件

その他 一般経過報告

- (3) 第 2 回評議員会 平成 30 年 12 月 26 日(水) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」

※評議員会への報告の省略手続きに基づき開催

出席者数: 9 名(評議員全員の同意あり)

評 議 員: 7 名

監 事: 2 名

議 事: 第一号議案 評議員の確認に関する件(評議員選任・解任委員会報告)

- (4) 第 3 回評議員会 平成 31 年 3 月 19 日(火) 於:都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 12 名（欠席評議員 1 名）

評議員： 6 名

監事： 2 名

理事： 2 名（理事長・業務執行理事）

法人職員： 2 名

議事： 第一号議案 平成 30 年度第 4 四半期補正予算（案）に関する件

第二号議案 平成 31 年度事業計画（案）に関する件

第三号議案 平成 31 年度予算（案）に関する件

第四号議案 社会福祉法人長幼会 定款の一部変更に関する件

報告事項 定年延長（就業規則の一部改正）に関する件 他

Ⅶ 各種委員会

平成 30 年度事業計画を遂行するため、下記委員会を開催して円滑な事業運営に努めてきました。

(1) 企画準備会

理事長の諮問機関として、日常的な課題はもとより、短期・中期に及ぶ課題の抽出や法改正に伴う諸規程類の制定・改正の検討を進め、毎月の企画運営会議の円滑な議事進行に努めることを目的に月 2 回（第一火曜日、第三火曜日）を基本に年 27 回開催してきました。

(2) 企画運営会議

法人の理念・方針等基本的考えの共通理解を図り、管理者の意思統一を図る場として、法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について審議するとともに、理事会への提出議案や報告事項の確認の場として、毎月定例的に開催してきました。

(3) 合同園長会

法人各事業所（四つの保育園）の円滑な運営及び各種の連携を図ることから、各事業所の課題、企画、イベントなどを持ち寄り、より良い保育を目指すことから相互の保育所運営に反映する場として今年度は 14 回開催してきました。

(4) 合同主任会議

各園の保育に関する事項や行事・研修等の連絡調整を図るとともに、保育主任としての共通理解を踏まえる場として年 8 回開催してきました。

(5) 合同看護師会

各園の感染症発生状況の把握、保健業務内容等の情報交換をはじめとし、園児、保護者、職員の健康促進のために保健的な見地からの援助・指導に反映することを目的に、年 2 回開催してきました。

(6) 合同事務会議

各事業所における会計及び事務処理手続きの課題や法対応に絡む手続き等の共通理解を深め、会計処理や事務処理を円滑に進めるための場として年 2 回開催してきました。

(7) 合同栄養士会議

安全かつ衛生的な食事作りを基本とし、各園での取り組み情報を共有するとともに問題点や改善事例について意見交換し、給食提供に反映してきました。今年度は 3 回開催してきました。

Ⅷ 保育所の運営方針、保育目標

【運営方針】

地域や利用者から愛され、信頼される保育園作りを目指す。

1. 法人の保育理念である「高齢者や地域の方々の人的資源を活用し、次代を担う子どもたちとその家族を支えるより良い保育環境（保育園）を構築する。

- (1) 子どもの最善の利益を守り、安心・安全な保育（園・環境）を目指す。
- (2) 子どもたちの健やかな育ちを支援し、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たす。
- (3) 高齢者や地域の方々とのふれあいを通じた心豊かな保育を目指す。

【保育目標】

1. 保育目標「思いやりのあるたくましい子どもの育成」

子どもの年齢の枠を超えた交流やふれあい体験、遊びや季節行事などを通して人間形成の基礎となる思いやりの気持ちや心身ともにたくましい子どもの育成を目指す。また、家庭や地域社会との連携を密にして、職員一同、子どもの人権を守り、真心と愛情をもって子育て支援に取り組めます。

2. 目指す子ども像

- (1) たくましい子（社会性・自立心）
 - ・健康・安全・衛生等日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。
 - ・心身の健康の基礎を培うとともに、生命の保持及び情緒の安定を図る。
- (2) 仲良くする子（優しさ）
 - ・周りの人とのふれあいの中から、思いやる心と道徳性を培う。
 - ・周りの人とのふれあいの中で、人に対する愛情と信頼、そして人権を大切にする心を育てる。
- (3) よく考える子（自発性・知的好奇心）
 - ・周りの自然に興味をもって接し、動植物と仲良しになれる態度を養う。
 - ・周りの人の話をよく聞き、表現する態度を身につける。

3. 保育所保育指針に基づく各施設が共有すべき事項

平成 30 年 4 月 1 日より施行された改定保育所保育指針を踏まえて、より良い保育に向けて環

境整備に取り組んでしました。

【幼児教育を行う施設として共有すべき事項】

(1)育みたい資質・能力

保育所においては、生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育所保育指針に基づく保育の目標を踏まえ、次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。

ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」

イ 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」

ウ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

(2)幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

次に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮するものである。

ア 健康な心と体

保育所の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

イ 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

ウ 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

エ 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

オ 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に

必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

カ 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。

また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

キ 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになる。

ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

ケ 言葉による伝え合い

保育士等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

コ 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

(3)乳児保育に関わるねらい（3つの視点）

ア 健やかに伸び伸びと育つ

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基盤を培う。

イ 身近な人と気持ちが通じ合う

受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う。

ウ 身近なものと関わり感性が育つ

身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。

(4) 1 歳以上 3 歳未満児の保育に関わるねらい (5 領域)

ア 健康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

イ 人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。

ウ 環境

周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

エ 言葉

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

オ 表現

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

IX 平成 30 年度一般指導監査

所轄庁（横浜市）による社会福祉法第 56 条、児童福祉法第 46 条等に基づく、法人・施設に対する平成 30 年度実地監査（一般指導監査）を受けました。

☆社会福祉法人長幼会及び保育所の一般指導監査 平成 30 年 10 月 4 日 9 時 30 分から（1 日）

・社会福祉法人長幼会 ・すくすく保育園

☆保育所の一般指導監査 平成 30 年 10 月 5 日 9 時 30 分から（半日）

・千丸台保育園

☆平成 30 年度民設民営化保育所指導監査及び確認指導（書面監査）平成 30 年 11 月 30 日提出

・玉川保育園

☆平成 30 年度一般指導監査対象外施設における必要事項の報告（書面監査）平成 30 年 7 月 31 日・12 月 28 日提出

・横浜みなとみらい保育園

所轄庁からは平成 30 年 12 月 25 日発出の監査結果（通知）において、法人・すくすく保育園・千丸台保育園について、数点の改善を要する事項の指摘がありましたが、対応を終えています。

書面監査の保育所については、概ね良好であるとの結果（通知）となりました。

平成 30 年度 すくすく保育園 事業報告

定員 60 名 (在籍 72 名)

1 施設運営状況

保育目標である「思いやりのあるたくましい子どもの育成」に向け、職員を核として、保護者・隣接する都筑ハートフルステーションや地域の方々との連携を図りながら平成 30 年度の運営を行ってきました。

年度当初は 0 歳児の入所人数が 5 名と少ないスタートであったが、月を経るごとに利用者が増えてきたことや、待機児解消から定員の 20% の弾力化として受け入れを行うことで、ほぼ安定した状況の中で運営することができました。

一時保育は、就労形態の違いにより保護者からのニーズは様々ですが、高いものがあります。利用希望は乳児クラス（0 歳～2 歳児）が多くあり、施設面積から 1 日 1 人の受け入れに留まりましたが、緊急やリフレッシュ等、就労以外のニーズも可能な限りの受け入れを行いました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	31	31	31	32	33	33	34	34	34	34	34	34	395	32.9
女児	35	35	36	36	37	37	38	38	38	38	38	38	444	37.0
計	66	66	67	68	70	70	72	72	72	72	72	72	839	69.9

【利用者状況推移】（各年度 3 月 1 日現在）

年度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
24 年度	10	13	13	14	13	12	75
25 年度	10	12	13	13	14	13	75
26 年度	10	12	13	11	13	14	73
27 年度	10	12	13	13	13	13	74
28 年度	10	12	13	13	13	14	75
29 年度	10	12	13	13	13	13	74
30 年度	10	12	13	13	11	13	72

30 年度は横浜市の一般指導監査を受け、違う視点で見ていただけたことで、新たな気づきがありました。保育園の自己評価、保護者アンケートの結果を踏まえ、課題点の見直しを行い、より安全で安心な保育運営につなげていけるよう努めてきました。

職員育成に向けては、今年度も職員間の年齢階層別にも広がりを見せていることや育児短時間勤務職員、非常勤職員がいる中で、職員間のコミュニケーション、情報の共有を図るために、各種会議・昼の時間のミーティング・連絡ノート等、改善に努めましたが、まだ 100% にはならず

都度、課題の見直しを行ってきました。情報共有のあり方については引き続き今後の課題となりました。

また、法人として「職位階層別に求められる資質」が明文化されたことで、職員一人一人が求められている職務内容や資質向上の必要性を理解し、研修に対する姿勢もより前向きなものになりました。研修についても職員各自の目標を基に、園内・園外研修に参加し、人財の育成・資質の向上に取り組むとともに、わらべうた・リズム・和太鼓など、保育の実践に向けた定期研修に職員が順番に参加し、日々の保育や行事の中で生かし、全員で共有してきました。

2 利用者支援状況

保育所保育指針の改定に伴い、全体計画の見直しを行い、計画を踏まえたうえで、日々の保育の見直し、振り返りに重点を置き、保育士・看護師・栄養士の専門性を活かしながら、子どもたち一人一人が自分らしさを発揮できるよう、寄り添い・気持ちを受け止め、園内外においても、様々な人との関わりやふれあいを大切に、思いやりや優しい気持ちが伝わるよう保育を進めてきました。また、日々の子どもの姿を伝えるために、掲示板の利用や園の入り口に活動の様子を写真で掲示するなど、「見える化」を行うことで、子どもたちのクラスだけでなく園全体の様子が伝わるよう努めてきました。

園の立地条件を活かし、園外保育・菜園活動・園の回りの生き物の飼育を通して四季の移り変わりを全身で感じたり、日々の保育の中で体験・発見・感動したことを受け止め、共有し保育に繋げてきました。

生き物については、産卵を通して、新しい命との出会いを期待しつつ、成長の様子を子どもたちと一緒に共有し保育につなげています。

配慮・援助を要する子どもへの対応については、専門機関との連携をとりながら成長を援助するとともに、該当クラスに加配の職員を配置するなど安心して生活できる環境の整備に努め、保護者との信頼関係を築きながら、子どもに対する共通理解を深められるよう取り組みました。具体的に加配の認定を受けている子どもはいませんが、援助・配慮を必要とする子どもは増える傾向にあり、北部療育センターとの連携を図る中で、関わり方、保育の進め方についての理解を深めてきました。情報は職員会議、記録書で共有し、全員が同じ対応をしてきました。

活動の内容や生活場面の移り変わりの際に、必要に応じて、職員を配置し、子どもたちが安心して生活できる環境を作るよう取り組みました。

3 職員の状況

職 名	平成30年4月1日 の職員数				年間退任・就任										平成31年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)							
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契 約 職 員		非 常 勤 A		非 常 勤 B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算		
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任									
園 長	1				1									0	0	1					1	1
保育士	17		1	3	21									0	0	17		1	3	1.7	21	19.7
看護師	1				1									0	0	1					1	1
栄養士	2				2									0	0	2					2	2
調理員	2	1		1	4				1				1	0	2	2			1	0.3	3	2.3
事務員	1				1									0	0	1					1	1
嘱託医					2									0	0						2	0
計	24	1	1	4	32	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	24	0	1	4	1.98	31	27

＊ 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

園設立後18年を経過しており建物附属設備の経年劣化が進み破損が多くみられたことや今年度は台風による保育室のガラス窓の破損があり、修理・取り換えを行ってきました。

- ・2階保育室パーテーション取り換え工事（平成30年7月19日）
- ・園庭横門扉鍵取り換え（平成30年8月6日）
- ・幼児テーブル・椅子経年劣化により取り換え（平成30年8月28日）
- ・2階幼児トイレ足摺り修理（平成30年8月19日）
- ・台風によるガラス窓取り換え 3歳児（平成30年10月10日）
- ・給食室給湯器経年劣化により入れ替え（平成30年10月27日）
- ・台風によるガラス窓取り換え 2歳・3歳・4歳児（平成30年11月11日）
- ・IP無線機導入（平成30年11月14日）
- ・給食室スチームコンベクション経年劣化による入れ替え（平成30年12月10日）
- ・園庭横、漏水による水道管パイプ取り換え（平成31年2月5日）
- ・園舎外壁・防水工事見積依頼（平成31年2月22日）

5 年間行事報告

4. 2 入園式	10. 30 なかよしパーティーごっこ
5. 2 子どもの日を祝う会	11. 9 焼き芋会
5. 2 2 内科健診	12. 8 すくすく発表会
5. 2 3 尿検査	12. 19 餅つき会
6. 2 ふれあい祭り	12. 21 お楽しみ会
6. 5 歯磨き指導（看護師）	1. 11 だんご作り・どんど焼き
6. 7 歯科健診	1. 17 おはなし会（かかし座）
6. 1 2 じゃがいも堀り（澤さんの畑）	1. 25 お店屋さんごっこ
6. 1 4 プール開き	1. 31 節分会
7. 5 七夕会	2. 6 年長児交流1・31 節分会
7. 7 育児講座	2. 16 アルバム制作会
7. 2 0	2. 28 ひな祭り会
～2 1 お泊り保育（年長児）	3. 2 進入園児説明会
8. 2 療育相談	3. 8 お別れ遠足（八景島シーパラダイス）
9. 2 総合防災訓練	3. 13 ハートフル交流会（年長児）
9. 6 敬老の日の集い（ハートフル）	3. 18 卒園式
10. 6 運動会	3. 20 お別れ会
10. 1 0 内科健診	3. 23 育児講座
10. 1 1 さつまいも堀り（澤さんの畑）	3. 25 テレビ局見学（年長児）
10. 1 2 幼児遠足	3. 29 進級式

6 健康管理

常勤の看護師を配置し、必要に応じて医療機関や関係機関と連絡を取り、子ども一人ひとりの発育発達に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。

- ・保健の年間計画を基に、子どもたちが健康な生活習慣を身につけ、体力づくりや自らの健康に関心を持って、病気の予防や体力増進に取り組めるよう、絵本や模型を使い日々の保育の中でわかりやすく指導してきました。
- ・登園時に視診や看護師がクラスを回り、連絡帳の確認とともに健康観察・午睡明けの0、1歳児の検温を行い必要に応じて保護者へ連絡をし、病気の早期発見に努めました。
- ・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行ってきました。

- ・全園児を対象に独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、園での病院受診の際に必要な応じて手続きを行いました。
- ・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議・日々のミーティングで周知・演習を行いました。
- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）の対策として、0歳児は5分、1歳児は10分ごとにブレスチェックを行いチェック表に記入し予防に努めました。

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診（年2回）	5月22日 ・ 10月10日	全園児
歯科健診（年1回）	6月 7日	全園児
視聴覚検査（年1回）	6月	4歳児
尿検査（年1回）	5月23日	4・5歳児
身体測定（毎月1回）	毎月15日頃	全園児
爪検査（週1回）	毎週月曜日	全園児

<職員>

採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断（年1回）	7月～8月	全職員
細菌検査（月1回）	毎月	全職員
ノロウイルス検査（月1回）	11月～3月	給食室
予防接種（年1回）	10月～	全職員
健康チェック（毎日）	出勤時	全職員

7 食 事

月に1度、給食会議を行い喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・看護師・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。

- ・栄養士・看護師・保育士が連携し、子どもたちに食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体について関心が持てるような取り組みを行いました。
- ・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
- ・主治医の指示書に基づき、アレルギー児（卵）への除去食の対応を行いました。
- ・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・アレルギー児食・延長補食・夕食）の配布。また、補食・夕食については、家庭的な雰囲気の中で、楽しく・美味しく食べることができるよう取り組みました。

- ・離乳食は、保護者の方と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
- ・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。
- ・人気メニューや簡単レシピのプリントを用意し、家庭でのお子さんと保護者の食育につなげてきました。
- ・9月の総合防災訓練の際には、非常食を献立に組み込み、子どもたち、職員に提供しました。

8 衛生管理

<保育室>

- ・クロール水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を行いました。
- ・各保育室に加湿器と空気清浄機を設置し、集団感染の予防に努めました。
- ・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液を設置し、感染予防に努めました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し、二次感染の防止に努めました。

<給食室>

- ・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿っての確認作業を行いました。
- ・調理室、ワゴン、冷蔵庫等の消毒を行い、衛生管理に努めました。
- ・食器類は洗浄後、熱風庫にて保管し、衛生管理に努めました。
- ・検品として、原材料・調理済み食品は、14日間保存（15日目に廃棄）を行いました。

<施設>

- ・年に2回（春・秋）、害虫駆除を実施しました。

9 安全管理

- ・毎月1回（火災・地震・不審者・洪水等）色々な時間帯を想定し、抜き打ちで避難訓練実施。職員も交代で水消火器を使用しての消火訓練を行う中で、消火器の使い方を学びました。
- ・年1回（9月の総合防災訓練時）保護者に引き渡すことを想定し、職員同士で引き渡し訓練を行いました。
- ・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認を行いました。
- ・月1回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険個所の確認をし、不具合箇所については修理、改善を行いました。
- ・防災設備点検の実施（年2回）4月の点検の際には都筑消防署に書類を届出し、特に問題は無いことの確認を得ました。
- ・危機管理や災害時の連絡ツールとしてIP無線機を導入し、園だけでなく、法人内の各園とも連絡を取れるよう設定しました。日常の散歩や園外活動で活用しています。

- ・非常食糧の備蓄（全園児＋職員）× 3 食×（1 日～3 日）分を確保しています。

10 特別保育の実施

<一時保育事業>

- ・1 日に各クラス 1 名、生後 6 か月よりの受け入れを行いました。0 歳児、1 歳児、2 歳児の利用希望が多く、できるだけ大勢の方が利用できるよう調整しました。

<延長保育事業>

- ・支給・認定区分に応じた保育時間内にお迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行うとともに、夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

<障害児保育事業>

- ・障害児認定の子どもはいませんが、支援が必要な子どもは多く、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、他の子どもたちとの生活を通して、共に成長できるよう、保育支援を行いました。

<療育相談>

- ・春と秋の 2 回、北部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深め、職員会議で報告し、共通理解を図りました。

<体操指導・年 20 回>

- ・体操指導は外部の講師をお願いし、年間プログラムにそって幼児クラスが行いました。運動会や発表会で、成長した姿を見せることができ、保護者の方からも継続の声をいただきました。

<太鼓指導・年 10 回>…3 歳児～5 歳児

- ・和太鼓については、すすく保育園のオリジナル曲を作って頂き、3 月の引継ぎ式の時に、年長児が発表しました。

<えいご・年 24 回>…2 歳児～5 歳児

- ・えいごは今年度（30 年）より取り入れ、外国人講師をお願いし、遊びながら英語に親しむことを考え、プログラムに沿って行いましたが、講師の交代や日程の変更などがあり、次年度の課題も浮き彫りになりました。

<地域活動推進事業>

*世代間交流（都筑ハートフルステーション・横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）

- ・ふれあい祭りの共同制作、敬老の日の集い、年長児交流、散歩等、各クラスの子どもたちが施設の利用者の方と年齢に合わせた形で世代間交流を行いました。

*異年齢児交流

- ・行事の際の卒園児との交流や近隣小学校の 1 年生・2 年生・5 年生と学校探検や保育園交流を行いました。

***実習生・中高生保育体験**

保育の仕事を経験し将来につなげて頂くことを目的に、養成校の学生をはじめ、夏休みに大学生・高校生のボランティア、中学生の職業体験などの受け入れを行いました。

*年間を通して園庭開放・育児講座・育児相談を行ってきました。

<幼・保・小の連携>

幼・保・小の連携では勝田小学校・中川小学校の1年・2年・5年生と年長児の交流・近隣保育園（やまた保育園・キッズフォレ）と年長児の交流をしてきました。

***小学校との交流（中川小学校・勝田小学校）**

・春に中川小学校の2年生が来園し、年長児と交流を行いました。秋には1年生、5年生と交流し、小学校探検や秋祭りなどに参加し、期待を膨らませることができました。

***近隣の保育園との交流（やまた保育園・キッズフォレ・勝田保育園）**

・近隣保育園の交流は年長児が中心に行いました。各園とも、ひとクラスの人数が少ない為、小学校に向けて大きな集団での経験をすることができました。また、同じ小学校へ通う子どももいるなかで、交流の場で仲良くなれたことは、小学校へ入ってからの安心感にも繋がったと考えています。

1 1 保護者に向けて

- ・重要事項説明書について、前年度からの変更点について年度末のクラス懇談会で説明を行い、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明会の際に説明を行い、署名捺印をいただき、割り印押印したのち保護者と園で卒園まで保管しています。
- ・緊急時防災メールや掲示板の利用登録を保護者、職員にお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子をテストメールとして発信し、既読確認を行い伝達漏れがないよう努めました。
- ・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させ、すぐにできるものは都度、見直しが必要なものについては次年度に取り入れられるよう対応してきました。
- ・各行事への参加の要請を行うとともに、日常の保育の様子もいつでも参観できるようよう声掛けしました。（年に2回、5月と1月に保育参観週間の機会を設けました）集団の中での活動の様子を見ることで、家庭との違いを理解する良い機会になっています。
- ・年度初め・年度末にクラス懇談会を行い、年間の保育の見通しや1年間の成長と振り返りを伝えました。
- ・年1回の個人面談では、園や家庭での様子を伝え、子どもたちに対して同じ視点で関わることもできるよう共通理解を図りました。
- ・保護者へのお知らせについて、連絡ノート・連絡帳・連絡ボードを利用し、園での様子やご家

庭での様子を共有しながら、保護者との信頼関係を築いていけるよう取り組みました。

- ・保護者の方の不安や、ご意見等についても職員間で共有し、内容によって担任・主任・園長が話をし、早めの対応を心がけました。
- ・保護者の方の表情や態度、声のトーンなど、出来るだけ早くキャッチして、職員から声をかけコミュニケーションを取る中で、日常の保護者に対する支援に努めてきました。
- ・日々の様子はクラスごとに写真とともに貼りだしをし、行事の様子はその都度玄関の入り口に掲示し、子どもたちと一緒に話題を共有できるように努めました。また、園の掲示板も利用し、子どもたちの様子を保護者に発信してきました。

<毎月1日発行>

園だより ・クラスだより ・保健だより ・給食だより

<月末に発行>

献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・アレルギー児食・おやつ・補食・夕食）

1 2 職員・園務

- ・交流のある小学校を中心に、卒園児がいる小学校の授業参観・運動会を参観に行き、連携を図るとともに、子どもたちの成長を見守ってきました。
- ・職員の処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ、職員処遇改善費の計画書の届け出を行い、職員への賃金の改善を図るとともに、キャリアアップ研修への参加機会の拡大に努めました。
- ・産休・育休の取得、育児短時間勤務の職員がいる中で、外部への研修に参加してスキルアップができるよう、配置基準よりも多めの職員を採用する中で参加機会の拡大を図りました。
- ・育休 4名（2名…5月より、1名…10月より復帰） 育児短時間勤務 4名
- ・市・区等の研修・わらべうた・4園の合同研修に参加など、研修してきた内容を職員会議で報告、共有し、日々の保育の中で実践することにより、スキルアップに繋げてきました。

*その他

- ・福祉団体総合保険・医療保障保険に引き続き加入し、職員の負担軽減に努めました。
- ・福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済（はまフレンド）の手続き処理の迅速化を図り、職員サービスへの向上と福利厚生の実現を図ってきました。

1 3 平成30年度研修内容

様々な条件の職員がいる中で、日々の保育を安全に行うことを優先しながらも、キャリアアップ研修を初め、各自が希望する研修に参加できる環境を作ってきました。引き続き、職員が研修に参加できるよう環境整備を図っていきます。参加した研修については、各種会議で報告し、情報の共有とともに、園の書式の見直しや保育の振り返りに反映してきました。実践的なものについても

日々の保育の中に取り入れ活かしてきました。

【平成 30 年度研修内容】

日時	場所	内容	主催	人数
5 月 10 日	都筑区役所 6 階大会議室	年長児担当職員研修	都筑区子ども家庭支援課	1 名
5 月 30 日	磯子公会堂	集団給食における衛生管理について	横浜市健康福祉局	1 名
6 月 8 日	青葉区役所	給食施設栄養管理研修会	横浜市保健所	1 名
8 月 27 日	都筑区福祉保健センター	感染症研修	都筑区子ども家庭支援課	1 名
10 月 17 日	関内ホール	保育所児童保育要録研修	横浜子ども青少年局	1 名
10 月 30 日	都筑区役所	要支援児研修	都筑区子ども家庭支援課	1 名
11 月 13 日	都筑区役所	乳幼児の保育環境	都筑区子ども家庭支援課	1 名
11 月 19 日	神奈川公会堂	規則正しい睡眠と食生活を考える	横浜市健康福祉局	1 名
11 月 29 日	神奈川公会堂	看護職研修	横浜市健康福祉局	1 名
1 月 10 日	都筑区役所	3 区合同保育所職員研修	都筑区子ども家庭支援課	2 名
3 月 19 日	健康福祉センター	小児医療研修	横浜市健康福祉局	1 名

【平成 30 年度キャリアアップ研修】

6 月 19 日	横浜女子短期大学保育センター	0 歳児保育（乳児保育）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
7 月 10 日	横浜女子短期大学保育センター	1 歳児保育（乳児保育）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
8 月 6 日	横浜女子短期大学保育センター	1 歳児保育（乳児保育）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
7 月 27 日	横浜女子短期大学保育センター	主任研修（マネジメント）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
9 月 6 日	横浜女子短期大学保育センター	リスクマネジメント	横浜女子短期大学保育センター	1 名
9 月 13 日	横浜女子短期大学保育センター	0 歳児研修（乳児保育）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
10 月 9 日	横浜女子短期大学保育センター	感染症対策（保健衛生・安全管理）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
11 月 1 日	横浜女子短期大学保育センター	事故防止（保健衛生・安全管理）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
11 月 13 日	横浜女子短期大学保育センター	主任研修（マネジメント）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
1 月 21 日	横浜女子短期大学保育センター	リーダーシップ（マネジメント）	横浜女子短期大学保育センター	1 名

1 月 21 日	横浜女子短期大学保育センター	マネジメント	横浜女子短期大学保育センター	1 名
1 月 24 日	横浜女子短期大学保育センター	乳幼児救急法（保健衛生・安全管理）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
1 月 30 日	横浜女子短期大学保育センター	食育・アレルギー対応	横浜女子短期大学保育センター	2 名
2 月 5 日	横浜女子短期大学保育センター	慢性疾患（保健衛生・安全管理）	横浜女子短期大学保育センター	1 名
2 月 20 日	横浜女子短期大学保育センター	食育・アレルギー対応	横浜女子短期大学保育センター	2 名

【園主導外部研修】

毎月 第 3 木曜日	茅ヶ崎保育園	和太鼓研修	打鼓音	3 名
毎月 第 1 水曜日	たまプラーザ地域ケアプラザ	わらべうた研修	わらべ歌の会	3 名
毎月 1 回	保土ヶ谷区小学校	リズム研修	鶴見乳幼児福祉センター保育園	2 名

【長幼会主催研修】

4 月 29 日	横浜みなとみらい保育園	長幼会 合同研修	法人	21 名
----------	-------------	----------	----	------



【すくすく保育園 紹介パンフレット】

平成30年度 千丸台保育園 事業報告

定員100名 (在籍101名)

1 施設運営状況

入所状況は、年度初め3歳児に進級する園児の幼稚園への転園が多く、15人に満たなく1人担任でのスタートとなりました。徐々に園児の入所が決まり10月には、定員の100名を超える園児の受け入れができました。

【年間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	49	49	50	50	50	52	54	55	55	55	55	55	629	52.4
女児	44	46	47	47	47	47	47	47	47	47	46	46	558	46.5
計	93	95	97	97	97	99	101	102	102	102	101	101	1187	98.9

【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年度	10	13	17	17	19	21	97
25年度	11	13	17	17	18	19	95
26年度	11	13	17	17	19	17	94
27年度	10	13	17	16	20	19	95
28年度	11	14	18	20	21	21	105
29年度	11	15	17	19	18	20	100
30年度	10	16	18	17	20	20	101

※平成28年度より定員変更(98名 → 100名)

運営も安定しており順調に1年を終え、年度末には障害児加配の委託費が遡って収入となり、当初の予定より増額をして設備費に積み立てをおこないました。

1年を通して大きな出費等はなく、保育の備品充実を図り、環境を整えながら予算内での運営をする事ができました。

職員の雇用については、派遣会社を利用せざるを得ませんでした。順次、直接雇用に切り替え、年度末には派遣に頼らずに職員体制を組むことができました。また、今年度は保育士養成校(短期大学)の学生を土曜日のアルバイトで採用する事ができ、人材育成に取り組みながら年間を通して、全職員で協力しながら前向きな気持ちで運営してきました。

2 利用者支援状況

4月は、93名のスタートとなりました。幼児クラスで5名以上の空きがありましたが、0歳児は6

月には定員外を含む11名となり、昨年度に引き続き乳児クラスは空きのない状態で保育を行いました。徐々に幼児クラスも入園児が決まり定員を超えて受け入れをしました。

保育所保育指針の改定に伴い、『思いやりのあるたくましい子どもの育成』を念頭に置き、全体的な計画のもと年間カリキュラムから月間カリキュラムへとより具体的に明文化し、会議等で話し合って共通理解を図り、保育できるよう工夫をしました。

子どもたち一人一人を大切に、情緒が安定した日々を過ごせるように声かけやスキンシップを通じて成長を見守ってきました。また、自然豊かな千丸台保育園ならではの環境を活かした保育を子どもたちに提供できるよう工夫してきました。園外への散歩では、動植物とのふれあいから四季を感じることができ、伸び伸びと過ごすことができました。幼児クラスで、体操教室やお話し会・菜園活動等、楽しみながら充実した保育ができました。

保護者との信頼関係を深めるため、子どもの様子をこまめに伝え、こちらから声をかけて話しやすい雰囲気を作る努力をしました。しかし、保護者アンケートから忙しそうで声をかけにくいとの意見もあり、全職員で振り返り、次年度への課題として解決に向けて取り組んでいきます。

また、一時保育の利用は、年間を通して長い時間お預かりをする児が増え、昨年度を上回る利用料金の収入がありました。予約の希望に添えるよう職員体制を組み、意向通りに保育の受け入れができる努力をし、非定型保育を年間で予約をする家庭やパートで働く母親の地域支援に貢献してきました。

3 職員の状況

職 名	平成30年4月1日 の職員数				年間退任・就任												平成31年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)					
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員	有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			契 約 職 員		非 常 勤A		非 常 勤B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算			
							就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任										就 任
園 長	1				1								0	0	1					1	1	
保育士	16			12	28		1						2	0	3	20			14	5.4	34	25.4
看護師	1				1								0	0	1					1	1	
栄養士	1				1	1							1	0	2					2	2	
調理員	2			4	6	1	2						1	2	2			3	1.5	5	3.5	
事務員	1				1								0	0	1					1	1	
嘱託医	1				1								0	0	1					1	1	
計	23	0	0	16	39	2	3	0	0	0	0	0	2	2	5	28	0	0	17	6.9	45	34.9

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

施設については引き続き、安心・安全を保てるよう、職員一人ひとりが清掃・整理整頓に心がけました。年度末には、以前、修繕工事の際に修理をしなかった給食室の換気扇に不具合があり機能しなくなった為、新しい機械に交換を行いました。また園庭の砂場は、枠がなく高台に園があるため雨風で砂が減ってしまうことと、猫の侵入により砂の衛生面も懸念しており、子どもたちが安心して遊べるよう、また、保育環境を清潔に保つことができるように30年度の計画で予定していた砂場の枠を新しく購入しました。

また行事等で利用する“ステージ”を購入し『お楽しみ会』では、練習の時よりクラスごとに活用しました。卒園式は職員で案を出し、ステージを使用することによって卒園児の顔がよく見えるように工夫し、新しいスタイルで行うことができ、保護者・職員からも良い意見をもらい、心に残る式になりました。

入園説明会・懇談会などで活用できるようにプロジェクターを購入し、わかりやすく充実した内容で説明が行えるように次年度の準備をしました。

子どもたちの保育教材では、室内遊具やサッカーゴールなど新たに購入をし、遊びの幅と豊かな活動が広がりました。

5 年間行事報告

4. 2	入園式・進級式	10. 25	さつまいも掘り
4. 26	こどもの日を祝う会	11. 1	がやっこドッチボール大会
5. 1	茶摘み	10. 31	ハロウィン
5. 15	内科健診	11. 7	がやっこドッチボール
5. 23	がやっこスポーツフェスタ	11. 8	人形劇
5. 29	さつまいも苗植え	11. 16	大根抜き
6. 1	歯科健診	12. 8	おたのしみ会
6. 22	ジャガイモ彫り	12. 25	クリスマス会
7. 6	七夕の会	12. 26	おもちつき
7. 26	おとまり保育	1. 10	お正月遊びの会・ししまい
～27		1. 21	がやっこお正月遊び
8. 13	夏期合同保育	2. 1	節分の会
～15		2. 14. 21	お店屋さんごっこ
8. 31	夏祭り	3. 1	ひなまつりの会
9. 5	大根種まき	3. 4	じゃがいも種植え

9. 6 プール納め	3. 7 お別れ遠足
9. 13 敬老の日の会	3. 13 じゃがいも種芋植え
10. 6 運動会	3. 20 第14回卒園式
10. 9 内科健診	3. 31 年度進級式
10. 19 園外保育	

- *誕生会(毎月)
- *体操教室(幼児)月2回金曜日
- *おはなし会(幼児)月1回…3歳児は9月より参加
- *リズム遊び(幼児)週1回(基本水曜日)
- *お習字(5歳児)月1回(お休みの月あり)
- *新井小学校交流(1・5年生)・白根保育園交流・がやっこ交流(保土ヶ谷区公私保育園)
- *世代間交流(ケアプラザ)
- *地域交流…園行事へのお誘い
- *布団乾燥(2か月に1回)
- *害虫駆除(年2回)
- *個人面談
- *懇談会・試食会・保育参加

6 健康管理

園児は内科健診(年2回)・歯科健診(年2回)。視聴覚検査(4歳児・年1回)・尿検査(4・5歳児年1回)を実施した。また全園児対象に身体測定(月1回)、爪検査・頭髪検査を(毎週1回月曜日)行いました。

職員は定期健康診断(年1回)及び全職員の細菌検査(毎月)を実施し、また毎日『健康チェック表』に記入し、職員の体調を把握し健康管理に努めました。

感染症発生時は早めに保護者へ周知し、感染が拡大しないように注意喚起の張り紙や流行状況の把握をし、手洗いの励行やマスクの着用、全職員がインフルエンザの予防接種を受けるなど、健康管理に努めました。

7 食 事

すべての活動の源となる大切なものと認識し、安全でおいしい給食を目指しており、和食を中心とした献立を取り入れました。

栄養士が献立を作成し、完全給食の実施。保護者の方へは、毎月末に翌月の献立表を配布しまし

た。

離乳食の食事形態については、咀嚼状況や保護者の方の意向など話し合っ
て進めてきました。

食事形態は離乳食(5～6 か月食・7～8 か月・9～11 ヶ月食)

12～18 か月食

未満児食

幼児食

- * 暦に合わせて、行事食を取り入れ食事の楽しさを伝えてきました。
- * 「アレルギー疾患生活管理指導表」の提出に基づき、アレルギー食の対応をしてきました。
- * 保育時間に応じて補食・夕食の対応をしてきました。
- * 当日の給食(離乳食・昼食・おやつ・補食)をサンプルケースに掲示してきました。
- * 栄養士による食育指導を定期的に行い、衛生面の大切さや噛む事の大切さなどわかりやすく伝えられるよう努めてきました。

8 衛生管理

衛生面では、玩具の消毒・掃除はクロール水(次亜塩素酸)を使用し、安全・清潔に保てるようにしました。

保護者の方へは保育室入室の際、手洗い・うがいをしていただき感染症予防に努めました。

各保育室には空気清浄器を設置し、冬は湿度を保つために加湿器を設置しました。

9 安全管理

- ・防災訓練：毎月1回避難訓練(地震・火災・防犯・水害・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施しました。抜き打ち訓練も行い、災害時に戸惑わないよう子どもたちの安心・安全のため適切な準備をしてきました。
- ・毎月『安全点検表』で保育室・園庭の危険箇所を点検し、危険箇所について早急に改善して安全に遊べるように対応してきました。
- ・毎月『事故チェックリスト』の安全項目を担任同士で確認、話し合い危機管理意識を持つように心がけてきました。
- ・交通ルールの約束事など保育の中で教材(紙芝居や絵本)を使用し、分かり易く子どもたちに伝えることができました。また、散歩時に指導したり実践してみたりしてわかりやすく伝えました。
- ・防犯カメラ3台(園庭・裏門・正門)を設置し、安全対策を行いました。
- ・今年度新たにIP無線機を導入し、災害時の連絡ツールとして整備しました。また、災害時だけでなく緊急時の連絡手段として散歩など園外に出かける際に持って出かけるよう職員に周

知しています。自園だけでなく、本部や他の 3 園とも連絡ができるように調整しました。

10 特別保育の実施

<地 域 交 流>

地域に根差した保育園を目指し、園庭開放(夏はプールあり)や育児相談を行いました。

保育園での行事にお誘いし、園児と一緒に由来を知ったり楽しんだりしました。

保土ヶ谷区が主催の赤ちゃん教室を保育園で開催し、おもちゃ遊びの紹介をし、子育て支援に繋がってきました。

また育児講座では、毎年好評の『ベビーマッサージ』をおこない、外部講師の方に依頼し、愛着(アタッチメント)の大切を伝えながら育児相談を行ってきました。

<実習性・ボランティア>

【実習生】

・横浜子ども専門学校 実習期間： 5月14日～28日 12日間 1名

・國學院大學 実習期間：11月 5日～17日 12日間 1名

【ボランティア】

・夏期ボランティア … 白山高校学生

7月25日～27日 1名

7月30日～8月3日 3名

8月 6日～24日 1名

8月20日～24日 1名 計 6名

11 保護者に向けて

*年2回クラス懇談会を実施しており、年度はじめには保育目標を踏まえ1年間のねらいの説明をした。また、年度末には、1年の振り返りと進級・就学に向けての目標やより良い成長に向けての意見交換をしました。

*年2回の懇談会を開催。保育園の様子・家庭での様子を伝えあい、保護者・担任と話す時間を設けました。また、おやつ試食会を行い、子ども・保護者が一緒に園のおやつを召し上がり楽しい時間を過ごすことができました。保護者の方にも保育園の味付けや食材の切り方などを知っていただくことをねらいとして、給食の試食もバイキング形式で行い、家族で来ていただけるように計画をしました。

*育児講座として『親子でおやつクッキング』を開催し、保育園の午後おやつの手作り体験を栄養士の指導の下、親子が一緒になっておやつクッキングをおこないました。

*保育参観・保育参加を行い、保育園での子どもたちの様子をみていただいたり、実際に保育に

参加していただきました。午後のおやつを子どもたちと一緒に食べる試食会をしました。また、希望者には個人面談をし、悩みや相談を受けアドバイスしたり保育園での子どもたちの様子を伝えたりして成長を分かち合えるように努めてきました。

* 年度末には、『保育(園)に関するアンケート』を実施し、保護者のニーズに応えられるように改善できる点を話し合い、次年度の保育につなげていけるよう保育の見直を進めてきました。アンケートは答えやすい様に簡略化し、全保護者へ依頼しました。半数以上の回答をいただいた中から今後も取り組みを続けていくことと、改善していくべき点を考え、次年度へ繋げていきます。

* 保護者の方とは、コミュニケーションをとるように心がけ、送迎時での声かけや子どもの様子を丁寧に伝えるなど、信頼関係を築けるよう努めてきました。

1 2 職員・園務

* 年 2 回（6 月 1 7 日、1 月 2 0 日）地域指導者交流会に参加し、地域の関係機関との顔の見える関係づくりと情報交換を行い、地域に根差した園経営の充実を図りました。

* 園の自己評価を全正規職員で行い、1 年間を振り返り、より伸長する面・改善していく課題を明確化しました。職員一人一人が自覚と責任を持って次年度へ向けてさらに課題解決に努め、保育内容の充実とより良い保育に向けた園経営を目指していきます。（3 月 2 8 日付、千丸台保育園のホームページに公表しました。）

* 職員は保育の質の向上の為、横浜市や保土ヶ谷区主催の研修を受講しました。研修報告を行うことで知識の共有を図り、日々の保育に活かしながら取り組みました。

1 3 平成 3 0 年度研修内容

月 日	内 容	主 催	人数
4 月 29 日	法人 4 園合同研修	長幼会	全職員
6 月 26 日	保育士等キャリアアップ研修『マネジメント』	神奈川県保育協会	1 名
8 月 16 日	保育士等キャリアアップ研修『障害児分野』	横浜子ども青少年局	1 名
9 月 6 ・ 7 日	保育士等キャリアアップ研修『食育・アレルギー分野』	横浜市こども青少年局	1 名
9 月 14・11 月 8 日・12 月 11 日	保育士等キャリアアップ研修障害児分野	横浜市こども青少年局	1 名
11 月 8 日	5 区合同研修	保土ヶ谷区	4 名
11 月 29 日	看護師等キャリアアップ研修	横浜市こども青少年局	1 名
2 月 14 ・ 19 ・ 20 日	保育士等キャリアアップ研修『食育・アレルギー分野』	横浜子ども青少年局	1 名
1 月 29 日・2 月 1 ・ 2 日	保育士等キャリアアップ研修『マネジメント分野』	横浜市こども青少年局	1 名
2 月 23 ・ 25 日	保育士等キャリアアップ研修『幼児教育分野』	横浜市こども青少年局	1 名

※副主任・専門リーダー・職務分野別リーダーは、自身の保育資質向上や指導者として人材育成

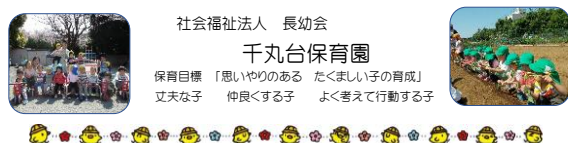
をしていく立場からキャリアアップ研修を受講しています。多方面の内容に渡り知識を深め、保育の幅を広げるとともに学んだ知識を職員に伝え、職員全体の育成として園の活性化のため活用しています。

【園内研修】

※職員会議の時間などを使い、全職員が参加し、研修できるよう工夫しています。また、30 年度は、非常勤職員も『嘔吐処理研修』を個別に行い同じ対応ができるようにしました。

※救急法研修は、毎年、西谷消防署より講師を派遣してもらい行っています。全職員が『普通救命講習』の修了書を持っており、3年に1度は更新講習を受講しています。毎年行うのは、習得した技術の確認と保育における救命時に活かすために行っています。

内 容	
熱性痙攣対応研修	嘔吐処理研修
エピペン研修	救命救急研修
プール水質管理研修	法人 4 園との行事交流研修



社会福祉法人 長幼会

千丸台保育園

保育目標 「思いやりのある たくましい子の育成」
丈夫な子 仲良くする子 よく考えて行動する子

交流保育 ～人とのふれあいを大切にして、たくさんの方と交流しています～



がやっこ交流

保土ヶ谷区の公私保育園交流です。川島町のブランドで体験をしたりゲームをしたり、交流先の保育園でお正月遊びを楽しみます。



敬老の日の会

園児の祖父母の方や地域の高齢者の方を保育園にご招待、昔ながらの遊び(お手玉・コマ回し・折り紙など)を教えてもらい、お礼に買ったたきのプレゼントです。



小学校交流

新井小学校と幼児小連携で、就学に向けて年長児と1年生・6年生と年3～4回ずつ交流を楽しんでいます。



ケアプラ交流

上菅田ケアプラザのデイケア利用の方とふれあい遊びやゲームで交流をします。毎回、利用者の方にとても喜ばれています。

食育

～豚汁やふりかけ作りを楽しんでいます～



菜園活動

新井小学校の畑をお借りし、応援隊の徳山さんに教えてもらいながら、ジャガイモ・玉ねぎ・さつまいも・大根etc...いろいろな野菜を育てています。収穫したジャガイモ・玉ねぎは年長児のお泊り保育でカレーに変身！さつまいもは焼いもに大根は豚汁を作って頂いています。いつも収穫が楽しみです。



年間行事

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 4月 入園式・お花見会食 | 10月 運動会・さつまいも掘り |
| 5月 茶摘み | 11月 人形劇・焼いも会 |
| 6月 親子遠足・じゃがいも掘り | 12月 おたのしみ会・お餅つき |
| 7月 七夕の会・お泊り保育 | 1月 お正月遊びの会・獅子舞 |
| 8月 夏祭り | 2月 節分の会・保育参加 |
| 9月 敬老の日の会 | 3月 お別れ遠足・卒園式 |

毎月の行事：誕生会・避難訓練・身体測定

幼児クラス：体操教室・おはなし会・お習字(5歳児のみ)



社会福祉法人長幼会
せんまるこども園
〒240-0053
横浜市保土ヶ谷区新井町
356-3
TEL 045(381)2898
FAX 045(381)2908

*横浜駅西口より
62系統千丸台園地行
*鶴屋駅より
119系統鶴屋行
→ 千丸台園地バス停
下車 徒歩5分



【千丸台保育園 紹介パンフレット】

平成 30 年度 横浜みなとみらい保育園 事業報告

定員 120 名 （在籍 134 名）

1 施設運営状況

今年度も昨年同様、定員の12%増の弾力化を行い、待機児解消に努めました。また、保護者のニーズを受け延長保育（朝 30分、夕方2時間半）を実施し、保護者の就労支援に努めるとともに、延長保育の中で安心して子どもたちが過ごすことができるよう環境整備等配慮しました。

また、一時保育は保護者のパート就労やリフレッシュ等様々なニーズに対応し、生後六か月から就学時までの子どもを最大11時間受け入れる体制を整えています。一時保育専用の保育室で最大1977名の子どもを受け入れすることができ、0歳児（生後6か月から）は保護者の方にも安心して預けていただけるように、0歳児クラスでの受け入れをし、在園児同様 離乳食にも対応しています。4・5歳児に関しては、幼稚園の春休み・夏休み等の利用が多く、在園児の部屋で3名ずつ受け入れをできるようにしています。しかしながら、平成30年度は西区内にも0歳児から2歳児を受け入れる保育施設も増えたことで、利用者数が伸び悩み、利用希望の多い0歳児の子どもを一時保育室でも受け入れが出来るよう一時保育室の環境整備も見直し、低年齢の子どもの受け入れに努めてきましたが、年間延べ人数 2,100名、月平均 175名と昨年度より約1,000名減少しました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	53	52	53	53	52	53	53	53	53	53	53	54	635	52.9
女児	77	79	79	79	79	79	79	79	79	80	80	80	949	79.1
計	130	131	132	132	131	132	132	132	132	133	133	134	1584	132.0

【利用者状況推移】（各年度 3 月 1 日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年度	20	22	23	23	23	23	134
25年度	20	22	23	23	23	23	134
26年度	20	22	23	23	23	22	133
27年度	20	22	23	23	22	23	133
28年度	20	22	23	23	20	22	130
29年度	20	22	23	22	23	24	134
30年度	20	22	23	23	22	24	134

今年度も保育園の自己評価や保護者のアンケート結果等から課題の分析をし、保育の質の改善につなげました。

また、横浜市の巡回訪問で違う視点からの改善点を挙げていただいたことを踏まえ、より安全で安心な保育・運営を行うよう努めてきました。地域との交流では、園庭開放や夏場の水遊び、育児相談、貸出図書、交流保育等で子育て支援を行うとともに、近隣の中学生、高校生の保育体験の場として受

け入れ、世代間、異年齢児交流に努めました。

地域との関わりにおいては、地域公私立保育園交流、幼保小交流、町内会行事への参加、出前保育、体験保育、育児講座、に積極的に努め、保育所の役割発揮につなげることができました。また、有志職員が地域消防団に加入し活動することで、地域との連携にも努めてきました。

職員育成では、職員処遇改善加算Ⅰに加え職員処遇改善加算Ⅱの申請に伴い、法人全体で職位階層（キャリア）別に求められる資質確認書を作成し、職員一人ひとりが求められていること、できていなければならないことが確認できるようにしました。また、昨年度同様、対象職員はキャリアアップ研修に積極的に参加し、それを園内で伝え合うことで、園全体の資質の向上に努めてきました。

2 利用者支援状況

「思いやりのあるたくましい子どもたちの育成」を保育目標に、身体を使った遊びを通しての体力作り体育指導、クッキング保育、2歳児から年長児の英語指導など様々な活動を取り入れる中で、一人ひとりが自分の力を十分に発揮し、仲間と育ち合えるよう努めました。

また、「自発性・知的好奇心」「優しさ」を育てるために、大人が先回りしすぎず、見守ることを職員間で意識統一していくとともに懇談会等の機会を通して保護者にも伝えていきました。

グループでの話し合いを通して自分たちで作り上げる経験を意識して取り入れていく中で、子どもたちの達成感や自信につなげていきました。

3時間延長保育の実施に伴い補食・夕食提供、また、延長保育の子がゆったりと過ごせる環境作りや保護者との連携に配慮しました。職員間では、マニュアルの見直しや連絡事項の徹底を行い、保育の質の向上に努めました。また、保育参加を積極的に取り入れ保護者との共通理解を深めてきました。

保育学校の実習生や近隣中学・高校の保育所体験の場として、積極的に受け入れを行ってきました。また、今年度の中学生の保育体験に卒園児（第3期生）が来るなど、当保育園の歴史の積み重ねの中で、卒園児の成長が実際に見られたことは、職員に対してもモチベーションの向上つながることとなりました。

3 職員の状況

職 名	平成30年4月1日 の職員数				年間退任・就任												平成31年4月1日の職員数 （常勤換算は3月分）					
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契 約 職 員		非 常 勤 A		非 常 勤 B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算		
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任									
園 長	1				1									0	0	1					1	1
保育士	28			16	44	4	6		1			1	1	5	8	32			13	7.8	45	37
看護師	1				1	1								1	0	2					2	2
栄養士	2				2		1							0	1	2					2	2
調理員	3			1	4	2	2					1		3	2	3			2	0.7	5	4
事務員	1				1									0	0	1					1	1
嘱託医				2	2									0	0				2		2	
その他																					0	0
計	36	0	0	19	55	7	9	0	1	0	0	2	1	9	11	41	0	0	17	8.5	58	49.5

* その他は、補助要員（資格未取得者）

* 臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、
非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

- ・ホール前壁紙修繕（平成 30 年 5 月 10 日～14 日）

※マグネットペイントを使用したマグネットでの掲示やホワイトボードマーカーでのお絵かき
等、職員や子どもも多目的に使用できる壁となりました。

- ・園庭遊具底板張替え（平成 30 年 6 月 25 日）

- ・給食室手洗い場改修（平成 30 年 11 月 4 日）

※衛星面を考慮し自動水栓型シンクに交換し、手洗いから消毒までできるようにしました。

- ・防犯カメラ修繕及び取付け位置変更工事（平成 30 年 11 月 13 日・平成 31 年 1 月 24 日）

- ・幼児男児トイレ修繕（平成 30 年 12 月 11 日）

- ・園庭シャワーバン修繕（平成 31 年 3 月 8 日～3月 29 日）

※従来から使用していたシャワーバンを塗り直し、再利用しました。

- ・玄関ドア塗装塗り直し（平成 31 年 3 月 8 日～9 日）

5 年間行事報告

4月 1日 入園式	9月 4日 平沼水天宮例大祭子ども神輿
誕生会（毎月）	9月13日 人形劇鑑賞
避難訓練（毎月）	9月15日 敬老の日を祝う会
懇談会（各クラス）	10月 7日 運動会
お話し会（2歳児～5歳児 毎月）	保育参観週間（全クラス）
4月28日 子どもの日を祝う会	10月20日 秋の園外保育（幼児）
※ 体育指導（幼児 月2回）	10月31日 わいわい仮装パーティー
※ 英語指導（2～5歳児 月1回）	11月 5日 西区民まつり参加（5歳児）
5月18日 開園記念日（10周年）	11月 6日 2歳児とあそぼう会（交流保育）
横浜消防音楽隊	12月 9日 生活発表会
5月19日 春の園外保育（幼児）	12月15日 もちつき会
※ 園児内科健診（年2回）	12月22日 お楽しみ会
※ 尿検査（4・5歳児）	1月10日 お正月遊びの会
6月 2日 さつま芋の苗植え（5歳児）	1月12日 繭玉団子作り（2～5歳児）
6月 6日 プール開き	1月15日 就学前交通安全教室（5歳児）
保育参観・試食会（各クラス）	懇談会（5歳児）
歯磨き指導（3～5歳児）	1月19日 ジャパンフィッシングショー（5歳児）
赤染体験（3～5歳児）	2月 2日 節分会
6月 歯科健診（全園児） 年2回	懇談会（0～4歳児）
30～7月1日 お泊り保育（5歳児）	2月23日 お別れ遠足（5歳児親子）
7月 1日七夕会	2月24日 入園説明会（新入園児）
7月14日 夏まつり	3月 3日 ひなまつり会
7月27日 交通安全教室（2～5）	3月17日 第10回卒園式
9月 1日 総合防災訓練	3月30日 進級式

6 健康管理

健康管理には最善の注意を払い、とくに感染症については、職員のみならず保護者にも罹患状況の掲示やクラスでの配布物などで周知し、予防や感染の拡大を防ぐ取り組みを行ってきました。

- ・入園する際、看護師が作成した「健康と安全のためのお知らせ」と「子どもの睡眠が成長に与える影響」の冊子を配布し、保護者とともに健康管理ができるように努めました。
- ・園児（年2回）・職員（年1回）の定期健康診断及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。

- ・給食職員にはノロウイルスの細菌検査を別途実施しました（11 月～3 月）。
- ・職員のインフルエンザ予防接種の実施

7 食 事

〈おいしく たのしく げんきになろう〉を給食目標に掲げ、子どもたちが健やかに育つために年齢（月齢）・や成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食の実施をしてきました。

また、アレルギー児への除去食の提供、3 歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育を利用する児には補食や夕食の提供も行ないました。

なお、日々の離乳食、給食、おやつ、捕食、夕食は事務所前のサンプルケースに基準量で展示し、保護者にも伝わりやすいようにしました。また、毎月の給食だよりには人気給食のレシピ掲載や、試食会の際にもレシピの配布を行いました。また、給食だけではなく、おやつの試食もしてみたいという保護者の希望に応え、懇談会後おやつ試食会を設けてきました。

8 衛 生 管 理

* 保育室

- ・クロール水を使用し掃除や消毒に努めました。
- ・空気清浄機の分解清掃を行いました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し二次感染の防止に努めました。
- ・園児の午睡用布団の乾燥を業者に依頼し、月 1 回実施してきました。

* 給食室

- ・衛生チェック表に基づき日々衛生・確認に努めました。
- ・食器洗浄後、熱風庫にて保管
- ・食材の原材料・調理済み食品の保管（2 週間）

* 施設

- ・年間 2 回の害虫駆除（6 月・12 月）を行ってきました。

9 安 全 管 理

- ・交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることができました。
- ・防犯訓練、毎月 1 回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施しました。
- ・消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保を行いました。
- ・安全チェックシートに基づき、各保育室・園庭・ホール等の安全確認を定期的に月に 1 度行いました。

- ・自主点検表に基づき日々安全確認を行いました。
- ・災害時の際、より確実に連絡体制が取れるよう IP 無線機の導入をしました。(園で 10 台) また、いざという時に使用できないと困るので、普段の散歩等にも携帯してきました。

10 特別保育の実施

- * 一時保育事業
- * 産休明け保育
- * 延長保育
- * 障がい児保育
- * 地域子育て支援
- * 夏祭りには地域の親子も招待し一緒にお祭りを楽しんでいただきました。
- * 敬老の日を祝う会では、祖父母を招待し、ふれあい遊び等の交流会を今年も実施しました。
- * 育児講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を行ないました。
- * 月に一度、意図的に異年齢児との交流を行い、いたわる気持ちや敬う気持ちを育ててきました。
- * 体育指導 (3~5 歳児)
- * 英語指導 (2~5 歳児)
- * 実習生・ボランティア保育体験
 - ・専門校受け入れ (1 校) 実習実日数 (10 日) 実人員 1 名
 - ・専門校受け入れ (1 校) 見学実習 (3 日) 実人数 2 名
 - ・高校生受け入れ (1 校) 保育体験 (3 日) 実人数 3 名
 - ・中学生保育体験 (2 校) 保育体験 (3 日) 実人数 5 名

11 保護者に向けて

- ・園だよりや保健だより、給食だより、クラスだより、献立表等各種おたよりの配布。
- ・育児講座の開催
- ・各種行事へのお誘い
- ・ホームページや掲示板の開設
- ・第三者委員の設置
- ・保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握
- ・中央図書館のご協力のもと貸出図書の実施
- ・新入園に向けての入園説明会の実施
- ・懇談会の開催や保育参観、保育参観週間を設け、保育を観ていただく機会を多く設けました。

1 2 職員・園務

- ・有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めることなど、地域の方との結びつきに努めてきました。
- ・地域出前講座へ参加してきました。
- ・幼保小交流を通して、子どもの育ちの連続性のために、大人の顔が見える関係作りにも努めてきました。
- ・自治会へ参加してきました。
- ・西区行事へ積極的参加（西区 区民まつり、さくらフェスタ）してきました。
- ・西区園長会・子育て支援会議に参加してきました。

1 3 西区幼保小公開保育の開催

- ・ビル型（駅型）保育園がどのように保育をしているのか観てみたいという要望を受け、受け入れを行いました。開催日が 8 月だったため、プール活動も取り入れ、保育室内での保育だけではなく施設全体を観ていただけるように工夫しました。また、公開保育後参加された先生方（小学校 10 名、幼稚園 11 名、保育園 26 名、合計 47 名）が 8 グループに分かれ、各グループに横浜みなとみらい保育園の職員が入り感想含め、情報交換や意見交換を行いました。

1 4 平成 3 0 年度研修内容

日時	場所	内容	主催	参加人数
4/29 (日)	横浜みなとみらい保育園	コミュニケーション グループディスカッション	長幼会・主任会	3 8 名
6/ 5 (火)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	11 名
6/ 8 (金)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	8 名
6/11 (月)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	7 名
6/13 (金)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	7 名
6/18 (月)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	8 名
6/20 (水)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	8 名

6/28 (土)	横浜美術館 子どものアトリエ	「えのぐ」と「クレヨン」 “つける”ことから“描く”ことへ	横浜美術館子どものアトリエ	1 名
6/29 (日)	横浜美術館 子どものアトリエ	紙工作土と造形 “思い”をかなえる“手”を育てる	横浜美術館子どものアトリエ	1 名
2/15 (金)	西区役所 3B 会議室	食育講演会 知って得する横浜野菜のおいしい話	西福祉保健センター	1 名
2/22 (金)	ホシガキ湘南株式会社 本社	いざどりとかたちを考えたメニュー ～おやつ～ (バイキング形式)	横浜市社会福祉協議会	1 名
3/5 (火)	西区役所 1AB 会議室	ビジネスマナー研修	西区役所	1 名
3/5 (火)	西区役所 1AB 会議室	より良い関係を築くコミュ ニケーション研修	西区役所	1 名
10/25 (木)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	7 名
11/8 (木)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	7 名
12/18 (火)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	5 名
1/18 (金)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	7 名
2/7 (木)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	7 名

平成 30 年度 キャリアアップ研修

日時	場所	内容	主催	参加人数
6/4 (月)	帆船日本丸訓練センター	キャリアアップ研修 マネジメント	H30 年度 横浜市こども青少年局	1 名
6/26 (火)	日本丸訓練センター 第 1・2 教室	キャリアアップ研修 マネジメント	神奈川県保育会事務局	1 名
6/28 (木)	帆船日本丸訓練センター 第 1・2 教室	キャリアアップ研修 マネジメント	横浜市こども青少年局保育 教育人材課	1 名
7/3 (火)	帆船日本丸訓練センター	キャリアアップ研修 マネジメント	H30 年度 横浜市こども青少年局	1 名
7/17 (火)	帆船日本丸訓練センター	キャリアアップ研修 マネジメント	H30 年度 横浜市こども青少年局	1 名
7/23 (月)	帆船日本丸訓練センター	キャリアアップ研修 マネジメント	H30 年度 横浜市こども青少年局	1 名

9/10 (月)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 マネジメント	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
9/25 (火)	帆船日本丸訓練センター 第1・2教室	キャリアアップ研修 マネジメント	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
9/28 (金)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 マネジメント	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
10/11 (木)	神奈川産業振興センター	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1名
10/18 (木)	帆船日本丸訓練センター	キャリアアップ研修 幼児保育	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
10/20 (土)	神奈川産業振興センター	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1名
10/29 (月)	神奈川産業振興センター	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1名
10/30 (火)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 乳児保育	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
10/20 (土)	神奈川県総合薬事保健センタ ー	キャリアアップ研修 乳児保育	株式会社 ポピンズ	1名
10/24 (水)	神奈川県総合薬事保健センタ ー	キャリアアップ研修 乳児保育	株式会社 ポピンズ	1名
10/27 (土)	神奈川県総合薬事保健センタ ー	キャリアアップ研修 乳児保育	株式会社 ポピンズ	1名
11/12 (月)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 マネジメント	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
11/20 (火)	帆船日本丸訓練センター	キャリアアップ研修 幼児保育	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
11/30 (金)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 乳児保育	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
12/18 (火)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 幼児保育	H30年度 横浜市こども青少年局	1名
1/7 (日)	ユニオンビル2階セミナ ールーム	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1名
1/15 (火)	ユニオンビル2階セミナ ールーム	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1名
1/27 (日)	ユニオンビル2階セミナ ールーム	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1名
1/9	神奈川県総合薬事保健セ	キャリアアップ研修	株式会社 ポピンズ	1名

(水)	ンター	保健衛生・安全対策		
1/19 (土)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	株式会社 ポピンズ	1 名
1/22 (火)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	株式会社 ポピンズ	1 名
1/31 (水)	横浜市技能文化会館	リーダーとしての取り組み	H30年度 横浜市こども青少年局	1 名
1/29 (火)	神奈川産業振興センター	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1 名
2/1 (金)	神奈川産業振興センター	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1 名
2/16 (土)	神奈川産業振興センター	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1 名
2/4 (月)	神奈川県総合薬事 保健センター	キャリアアップ研修 幼児教育	株式会社 ポピンズ	1 名
2/23 (土)	神奈川県総合薬事 保健センター	キャリアアップ研修 幼児教育	株式会社 ポピンズ	1 名
2/25 (月)	神奈川県総合薬事 保健センター	キャリアアップ研修 幼児教育	株式会社 ポピンズ	1 名
2/12 (火)	神奈川県総合薬事 保健センター	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	株式会社 ポピンズ	1 名
2/21 (木)	神奈川県総合薬事保健センタ ー	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	株式会社 ポピンズ	1 名
2/28 (木)	神奈川県総合薬事 保健センター	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	株式会社 ポピンズ	1 名
2/14 (木)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対策	株式会社 ポピンズ	1 名
2/19 (火)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対策	株式会社 ポピンズ	1 名
2/20 (水)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対策	株式会社 ポピンズ	1 名
3/8 (金)	横浜市技能文化会館	キャリアアップ研修 発表会	H30年度 横浜市こども青少年局	1 名
3/5 (火)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 乳児保育	株式会社 ポピンズ	1 名
3/11 (月)	神奈川県総合薬事保健セ ンター	キャリアアップ研修 乳児保育	株式会社 ポピンズ	1 名

3/12 (火)	神奈川県総合薬事保健センター	キャリアアップ研修 乳児保育	株式会社 ポピンズ	1 名
3/6 (火)	ココテラス湘南	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1 名
3/8 (金)	ココテラス湘南	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1 名
3/10 (日)	ココテラス湘南	キャリアアップ研修 マネジメント	株式会社 ポピンズ	1 名



【横浜みなとみらい保育園 紹介パンフレット】

平成30年度 玉川保育園 事業報告

定員135名（在籍 135 名）

1 施設運営状況

入所状況については、年度初めに4・5歳児の保護者の転勤等での退園があり、定員数の確保の為に1歳児を定員外で受け入れをするなど対応をしました。一時保育事業は地域未就園児を年間1,666名受け入れ、延長保育では20 時までの延長保育を行いました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	65	65	65	65	65	65	66	66	66	67	67	67	789	65.8
女児	69	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	817	68.1
計	134	133	133	133	133	133	134	134	134	135	135	135	1606	133.8

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年度	9	23	25	26	26	26	135
25年度	9	22	25	26	25	26	133
26年度	9	24	26	26	24	26	135
27年度	9	24	25	26	26	24	134
28年度	9	24	25	26	26	25	135
29年度	9	24	25	25	25	26	134
30年度	9	24	25	26	26	25	135

地域交流に積極的に取り組みました。玉川地区中丸子南緑道を守る会の方と園児で緑道に花を植える交流や地域保育園9園が集まってのドッジボール大会など園児の交流の他、職員が玉川地区の子育てサロンへでかけて、出張保育を実施し、玉川保育園のホールを開放して中原区地域子育てまもりセンターと地域保育園4園との共催で地域0歳児親子対象連続育児講座「ベビーミミケロひろば」を7月と12月に開催しました。保育士・看護師・栄養士の専門講座や遊びの紹介等、参加した地域親子に好評でした。

今年度は法人四園で借り上げ宿舍制度や処遇改善Ⅱの制度を導入したことで、経験を積んだ職員への処遇が厚くなり、専門職としての知識を習得をすることで職員個々の資質の向上を目指すことができました。

2 利用者支援状況

個別対応が必要な子どもに対しては（2名）、専門機関・保護者と連携を図り、子どもに対する個別対応の理解を深め、緊急時の対応においても職員間で共通認識や園外保育での対応など万

全の策での対応をすることができました。

保育園で見守りが必要な家庭の子どもは、中原区役所保健師や子ども家庭センター、医療機関と定期的に連絡を取りながら対応しました。

毎年2月に開催していたチャイルドフェスティバルの開催を12月に変更して実施しました。保護者アンケートでも感染症が流行する時期に対する変更であり、大きな反対もなく実施できました。また、保護者会と連携を取り、保護者会主催行事や園との共催行事も円滑に進行できました。

3 職員の状況

職 名	平成30年4月1日 の職員数				年間退任・就任										平成31年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)								
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員	有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			契約職員				非常勤A		非常勤B			就 任 計	退 任 計	契 約 職 員	非 常 勤 A			非 常 勤 B	常 勤 換 算
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任										
園 長	1				1									0	0	1						1	1
保育士	21		2	6	29	3	6							3	6	18	20		1	4	43	22	
看護師	1				1	1								1	0	1					1	1	
栄養士	2				2	1								1	0	1	3	1			5	1	
調理員	2				2									0	0		2				2	2	
事務員	1				1									0	0	1					1	1	
嘱託医				1	1									0	0						0	0	
計	28	0	2	7	37	5	6	0	0	0	0	0	0	5	6	22	25	1	1	4	53	28	

* 臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

- ・ 厨房腰壁保護パネル工事の実施

厨房下処理室の壁が劣化し剥がれた為、ステンレス製の腰壁パネルを貼り保護

- ・ 厨房水道配管工事の実施

水道管から水漏れがあり、配管工事を実施

- ・ 屋上洗面点検口設置、パーゴラ修繕工事の実施

夏季のプール時に使用する水道の元栓の開閉をするための点検口の設置と屋上パーゴラ部板を固定しているネジがビル風で緩み取れてしまった為、パーゴラ板をはめネジ部分が緩まないネジを使用して固定

- ・ 4・5歳児保育室壁穴補修工事の実施

4・5歳児保育室壁に穴が開いてしまった為、穴埋め修繕工事

・ I P 無線機リース契約の締結

大災害を想定し、法人 4 園が連絡することができ、園内でも 2 階の奥の保育室とも連絡が取れる I P 無線機の導入

5 年間行事報告

4月 9日	はじめまして集会	11月 10日	親子で遊ぼう会
4月 6日	お花見会食	11月 17日	たんぽぽひろば（育児講座）
4月 21日	保育説明会・保護者会総会	11月 20日	中原区保育まつり（5 歳児）
5月 2日	子どもの日集会	11月 21日	歯科検診
5月 12日	懇談会・試食会	12月 8日	チャイルドフェスティバル
5月 17日	さつまいもの苗植え	12月 14日	おもちつき
5月 25日	4.5歳児歩き遠足	12月 15日	5 歳児懇談会
6月 6日	歯科健診	12月 20日	人形劇ひとみ座
6月 14日	プール開き	1月 11日	お正月遊びの会
6月 15日	なかはらっ子シアター	1月 22日	交通安全教室
6月 16日	たんぽぽひろば（育児講座）	1月 24日	平間中学校職場体験
7月 12日	玉川中学校職場体験	1月 26日	0～4 歳児懇談会
7月 21日	なつまつり	1月 28日	おと絵がたり
7月 27日	5 歳児ゆうらく交流	2月 6日	5 歳児夏みかんジャムづくり
7月 30日	橘高校保育体験	2月 18日	5 歳児ドッチボール交流
8月 24日	5 歳児お隣保育	2月 20日	入園前健診
8月 30日	ミミケロ連続育児講座	2月 23日	入園説明会・一時保育説明会
9月 1日	ひまわり会バザー	2月 26日	4 歳児じゃがいも苗植え
9月 7日	プール納め	3月 1日	ひなまつり会
9月 14日	敬老の日の集い	3月 6日	5 歳児小学校探検
9月 27日	4 歳児ゆうらくとの交流	3月 8日	5 歳児お別れ遠足（等々力緑地）
10月 6日	第 7 回運動会	3月 16日	第 7 回卒園式
10月 30日	3.4.5 歳児バス遠足（生田緑地）	3月 29日	進級式・お別れ会
11月 5日	移動動物園		

※毎月の誕生会を実施しました。

※体操教室3～5歳児月2回、おはなし会3～5歳児年10回実施しました。

6 健康管理

- 除去食・既往症児の予薬を川崎市入所児童健康管理委員会への申請書を見直しました。
- 嘱託医による定期健康診断、プール前健診、入園前健診、年2回の歯科検診を実施しました。
- 全職員、年1回健康診断・毎月腸内細菌検査を実施しました。
- 園児及び全職員の感染防止、罹患状況、予防接種履歴を把握し、予防接種を推奨してきました。
- 全職員、インフルエンザワクチン予防接種を行いました。
- 就業前、職員の健康チェックを行い、健康状況に応じた業務の調整を行いました。
- 身体測定結果から発育評価を行い、必要に応じ園医に相談し、異常の早期発見に努めました。
- 感染症発生時は保護者に周知し、環境清掃や玩具の消毒など感染症が拡大しないよう衛生面に留意してきました。
- 感染症発生時は感染症情報収集システム（サーベイランス）を入力し、川崎市・中原区の保健所と連携をとり感染拡大防止に努めてきました。

7 栄養管理

- ・1週目食べられなかった食材を翌週は少しでも食べられるように2週間サイクルの献立を実施してきました。
- ・楽しく食事で健康な体を身につける年間目標に基づき給食の年間計画を立案し、実施しました。
- ・栄養士・調理師による年間を通した食育指導や食事の発達と指導ポイントを基に、栄養士・看護師・保育士が連携を取り年間を通した食事指導を実施することができました。
- ・小麦アレルギー児が入所し、アレルギーフリーの献立作成や米粉を使ったものを取り入れ、安心・安全な給食を提供することができました。
- ・年間の栄養指導計画の他、献立年間指導計画・食事の発達と指導ポイントを作成し、献立作成や年齢ごとの食事量、保育士の指導、配慮など明確にし、計画通り実施することができました。

8 衛生管理

- 施設の衛生管理マニュアルに沿って保育室の清掃、玩具の消毒・点検・整備・害虫駆除を実施しました。
- 手洗いの徹底、手指用消毒液の設置、感染症流行に応じたマスクの着用等、感染対策を行いました。
- 原材料の受け入れ、下処理段階における食品の衛生管理を行いました。
- 二次汚染防止の為の対策を行いました。
- 食器・食具の洗浄・殺菌保管を行いました。

○検体保管・検食を実施しました。

○汚染作業区域（下処理室）と非汚染作業室（調理室）の区別による衛生管理を行いました。

○年 2 回害虫駆除、グリストラップの清掃、年 2 回布団乾燥を実施しました。

9 安全管理

○毎月 1 回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施しました。

○総合防災訓練時に近隣保育園・家庭的保育室やまんちと合同訓練の実施。同日、引き取り訓練を実施しました。

○保育中、散歩時の不審者対応訓練を実施しました。

○川崎市認可保育園災害時情報伝達訓練へ参加してきました。

○中原区認可保育園災害時情報伝達訓練へ参加してきました。

○園舎・園庭の月 1 回の安全点検を実施してきました。

○月 1 回の事故チェックリストを用い、危険事項の確認やヒヤリハットの書き出しを行い、職員に危険個所の周知徹底、安全教育の強化推進をしてきました。

○地域保育園と合同の交通安全教室を実施してきました。

○プール時監視員の配置、水遊びの安全強化を実施してきました。

○SIDS予防のため、午睡時タイマーによる午睡チェック、強化月間月は保護者に啓発を行ってきました。

○全職員が普通救命救急講習を受講しました。

○年 2 回消防設備点検を行ってきました。

○年 2 回 110 番、119 番通報、給食搬入ダムウエーター保守点検を行ってきました。

10 特別保育事業の実施

＜地域活動事業＞

- ・地域保育園と年間を通して、5 歳児が和太鼓演奏やドッジボールで交流を深めました。
- ・ゆらくの高年齢者と和太鼓演奏で交流を深め、運動会や敬老の日に園児祖父母を招待して園児と交流を深めることができました。
- ・園庭開放、移動動物園、運動会、観劇等地域の親子を招待し交流を深めました。
- ・月 1 回の地域親子向けの子育てひろばの開催、年 2 回の育児講座の開催。玉川地区わいわいひろばへの保育士の派遣保育を行い、地域親子と園児の交流を深めることができました。
- ・11 月から 2 月の期間、地域親子向けに保育園の体験保育を実施しました。
- ・玉川地区中丸子南緑道を守る会の方と緑道の花植えを年 2 回行いました。

- ・ 0 歳児対象「ベビーミミケロひろば」連続 3 回育児講座を 7 月、12 月に開催。中原区地域保育所等と連携し、玉川地区保育園 4 園の保育士、栄養士、看護師が交替に講師を行いました。

<一時保育事業>

- ・ 今年度は非定型利用が少なく、リフレッシュ利用の当日キャンセルも多い状況でした。
- ・ 年間を通して緊急一時・非定利用で延べ人数 1,666 人の利用がありました。
- ・ 区の児童家庭課から地域親子の見守りが必要な子どもの預かりをし、子ども家庭センターや他機関と連携を取るケースに対応してきました。

<障害児保育事業>

- ・ 2 歳児中度 1 名、4 歳児重度 1 名、5 歳児中度 1 名・軽度 1 名の受け入れを行いました。関係機関、家庭と連携をとりながら個別の指導計画を立て保育を実施することができました。
- ・ 4 歳児脳形成異常児がてんかん重積発作を起こし救急搬送されましたが、マニュアルに基づく対策を取り対応することができました。
- ・ 5 歳児軽度対応の 2 名は就学に向けて保護者、川崎市中央療育センター、川崎市総合教育センター、就学先小学校と連携し、小学校入学へつなぐことができました。

<家庭的保育事業>

- ・ 家庭的保育室やまんち連携保育園として、給食の提供・交流保育・園行事への誘い・合同避難訓練・合同内科健診・歯科検診・代替保育（3 名）の受け入れを実施しました。

<その他>

○実習生・ボランティア・職業体験の受け入れ

- ・ 短大の受入校（2 校）実習実日数（10 日）2 名の受け入れを実施。
- ・ 橘高校・玉川中学校・平間中学校の職業体験の受け入れを実施。
- ・ 橘高校生ボランティア 8 名受け入れを実施。
- ・ 玉川小学校町探検小学生受け入れを実施。
- ・ 中原区地域みまもりセンター看護師の研修受け入れを実施。
- ・ 川崎市主催見学バスツアー保育士養成校学生、高校生の受け入れを実施。

1 1 保護者

- ・ 園たより・ほけんたより・給食たより・クラスたよりを発行しました。
 - ・ 保育説明会・保育参加・保育参観を実施しました。
 - ・ 保護者会会長、役員を中心に年間の共催行事を円滑に行うことができました。
 - ・ 保護者会と連携を図り、保護者会主催行事や園との共催行事も円滑に行うことができました。
- また、バザー収益金を運動会で使用する乳児幼児も使用できる玉入れを購入しました。

12 職員・園務

- ・保育については、各会議を通して、年間の行事等計画書通りに行うことができました。
- ・保育士業務負担軽減の為、行事ごとの制作物の縮小や例年チャイルドフェスティバルを卒園式に近い2月に行っていたが、12月実施に変更することで年度末、新年度に向けて見通しと余裕をもって仕事をすることができました。
- ・産休・育休取得保育士・栄養士が5名おり、退職職員や年度途中で退職する職員の補充など、保育士不足や各自治体での保育士の処遇の違いがあり、職員の補充に苦勞し派遣職員で対応せざるを得ませんでした。
- ・処遇改善Ⅱの保育士処遇が各自治体で違いがあり、横浜3園に準ずる形で対応をしてきました。

13 平成30年度研修内容

- ・救命救急講習・ダイアップ・吐物処理・プール水質管理・食物アレルギー児の対応研修の実施や処遇改善等加算Ⅱの制度を活用し、経験を積んだ職員が専門分野別の研修を受講しました。この制度を利用して職員が質の向上を目指し、専門的な知識の習得をすることができました。
- ・保育補助職員が保育士資格習得の為、川崎市保育士試験直前対策講座を受講してきました。

月 日	場 所	内 容	主 催	人数
7月 6日	中原区役所	明日の保育に活かせるワクワクドキドキ研修	中原区保育総合支援	1名
9月 4日	中原区役所	グループリーダーに求められるコミュニケーション技術	川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク	1名
9月 4日	川崎市役所	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	神奈川県教育委員会	1名
11月 26日	川崎市中央療育センター	食べる機能の発達と支援について	川崎市中央療育センター	1名
11月 14日	田園調布大学未来子ども園	中原区保育園・認定保育園実習研修	中原区地域みまもりセンター保育所等・地域連携	1名
1月 15日	川崎市役所	子どもの命を守る日々の気づき・ヒヤリハット	グローイン・グランマ	1名
3月 5日	中原区役所	これで解決？現場で使えるスーパービジョン、より良い先輩になる為に	川崎市社会福祉協議会	1名

キャリアアップ研修【マネジメント】

8月 6日	川崎市役所	「マネジメントの理解」	川崎市子ども未来局	1名
8月 6日	川崎市役所	「働きやすい環境づくり」	川崎市子ども未来局	1名
8月 24日	川崎市役所	「組織目標の設定」	川崎市子ども未来局	1名
9月 4日	川崎市役所	「人材育成」	川崎市子ども未来局	1名

9月 7日	川崎市役所	「リーダーシップ」	川崎市子ども未来局	1名
-------	-------	-----------	-----------	----

【乳児保育リーダー】

10月 31日	川崎市役所	乳児への適切な関り	川崎市子ども未来局	1名
11月 28日	川崎市役所	乳児の発達に応じた保育内容	川崎市子ども未来局	1名
12月 6日	川崎市役所	乳幼児保育の環境	川崎市子ども未来局	1名
2月 8日	川崎市役所	乳幼児保育の意義	川崎市子ども未来局	1名
2月 21日	川崎市役所	乳幼児保育の指導計画、記録及び評価	川崎市子ども未来局	1名

【食育・アレルギー対応リーダー】

7月 18日	川崎市役所	「保育所における食事提供のガイドライン」	川崎市子ども未来局	1名
8月 7日	川崎市役所	「栄養に関する基礎知識」	川崎市子ども未来局	1名
8月 20日	川崎市役所	「アレルギー疾患の理解」	川崎市子ども未来局	1名
9月 3日	川崎市役所	「食育計画の作成と活用」	川崎市子ども未来局	1名
9月 21日	川崎市役所	「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」	川崎市子ども未来局	1名

【幼児保育リーダー】

6月 11日	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	3歳児の遊びと環境	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
6月 15日	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	4・5歳児保育研修	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
7月 13日	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	3歳児の発達と保育	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
9月 14日	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	子どもの体と心	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名

【専門リーダー】

11月 8日	かわさき保育会館	保護者支援・子育て支援	(株) ポピンズ神奈川保育エキスパート研修	1名
11月 13日	かわさき保育会館	保護者支援・子育て支援	(株) ポピンズ神奈川保育エキスパート研修	1名
11月 27日	かわさき保育会館	保護者支援・子育て支援	(株) ポピンズ神奈川保育エキスパート研修	1名
12月 3日	かわさき保育会館	保健衛生・安全対策	(株) ポピンズ神奈川保育エキスパート研修	1名
12月 4日	かわさき保育会館	保健衛生・安全対策	(株) ポピンズ神奈川保育エキスパート研修	1名
12月 20日	かわさき保育会館	保健衛生・安全対策	(株) ポピンズ神奈川保育エキスパート研修	1名

1月 7日	ユニオンビル	マネジメント	(株) ポピンズ神奈川保育エキ スパート研修	1名
1月 15日	ユニオンビル	マネジメント	(株) ポピンズ神奈川保育エキ スパート研修	1名
1月 27日	ユニオンビル	マネジメント	(株) ポピンズ神奈川保育エキ スパート研修	1名



【玉川保育園 紹介パンフレット】

平成 30 年度 新井小学校放課後キッズクラブ 事業報告

はじめに

放課後キッズクラブは、小学校の施設を利用し、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供することを目的とした事業です。新井小学校放課後キッズクラブは、保土ヶ谷区が選定し長幼会が運営を行っています。平成 27 年度に横浜市との第 1 期委託契約（5 年契約）が終了し、今年度は第Ⅱ期（平成 32 年度まで）としての 3 年目を終えることができました。

放課後キッズクラブの主たる活動の場は学校の施設を利用しており、狭い専用室、調理場の整備など環境面の課題もあったことから、今年度は保土ヶ谷区、新井小学校の協力を得て、改善に取り組んできました。その結果、開放室の利用や調理場の設置ができました。

また、慢性的な人手不足のなかで、職員の熱意や、学校、地域の一体感が利用者、保護者の方々にキッズクラブの活動が理解され信頼されてきたことを実感しています。引き続き、過去に積み上げた実績を基に職員、保護者、学校、地域が一体となり青少年健全育成に寄与していきます。

1 運営理念

長幼会は、4 か所の保育園とキッズクラブ 1 か所を運営しています。「思いやりのあるたくましい子どもの育成」を保育目標としていますが、保育園の延長線上にキッズを位置づけ、家庭・学校・地域の連携を密に子どもたちの健全育成に貢献してきました。

2 運営方針

- ・ 子どもたちが、元気に楽しい日々を過ごせるようにプログラムの充実を図り、様々な体験を通して自他共に成長しあう場になるよう努めました。
- ・ 子どもたちの健やかな成長のために、職員の意識・資質の向上を図るとともに、人権の尊重、（いじめの撲滅）プライバシーの保護に努めました。
- ・ キッズクラブを「遊びの場」「学びの場」「憩いの場」ととらえ、日々子どもたちが充実した時間を過ごせるよう努めました。

3 事業の目的

- ・ この事業は、子どもたちが通い慣れている新井小学校の施設を利用して、異年齢間の遊びを通じた交流を促進し、児童の創造性、自主性、社会性などを養うことを目的としました。
- ・ この事業は、児童福祉法の放課後児童健全育成事業として、保護者が労働等により放課後当該児童が帰宅する時間帯に家庭にいない児童に対し、授業終了後に適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的としました。

4 活動場所

- ・キッズ専用室及び図工室

※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました。

5 事業の内容

- (1) 児童の健康管理
- (2) 遊びの活動への意欲と態度の育成
- (3) 遊びを通して自主性、社会性、創造性を養う
- (4) 児童の活動状況の把握と家庭との日常的な連絡及び情報交換
- (5) 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- (6) 保護者との連携による親子参加活動
- (7) 地域の子育て支援に関する活動
- (8) その他、児童の健全育成に関する必要な活動

6 利用料について

放課後キッズクラブの利用については、次の費用を徴収しました。

項 目	利用区分 1	利用区分 2
利用料	無料 ※午後 5 時以降も利用する場合は 1 回 800 円	月額 5,000 円 ※利用料の減免制度が適用される世帯は月額 2,500 円
障害見舞金制度負担金	児童 1 人につき年額 500 円	
おやつ代	なし ※午後 5 時以降も利用する場合は 1 回 100 円	実費相当額 1 回 100 円
材料費等	実費相当額	

7 在籍児童数・登録数・参加率

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
30年度在籍数	54	57	55	64	81	78	388
30年度登録数	54	51	40	53	46	26	270

【30 年度登録率 69.5%】 【平均児童利用数 92.2 人】

8 開設時間

授業があった日	授業終了～19:00
授業がなかった日（土曜日・長期休業日）	8:30～19:00

9 月別キッズ開設日数（ ）は土曜日開設日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
24 (4)	24 (3)	26 (5)	25 (4)	26 (3)	23 (5)	290 日 (46 日) 年間実施日数
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26 (4)	24 (3)	22 (3)	23 (4)	23 (4)	24 (4)	

10 職員構成**(1) 職員構成**

職 種	勤務時間
主任 (常勤) 1 名	1 日 6 時間勤務 週 5 日勤務 (週 30 時間)
副主任 (常勤) 1 名	1 日 5 時間勤務 週 5 日勤務 (週 25 時間)
非常勤職員 11 名	平日 4 時間勤務 週 1 日～4 日 土曜・休業日 4 時間～8 時間勤務

(2) 健康管理

- ・健康検査（胸部レントゲン撮影） 年 1 回実施しました
- ・細菌検査（検 便） 毎月 1 回実施しました

(3) 企画会議

- ・キッズ運営全般について、企画協議しました。
- ・参加者・主任、副主任、本部長、本部顧問、千丸台保育園園長、児童専任教師
- ・毎月職員会議の前週に開催いたしました。 9:00～10:00

(4) 職員会議

- ・企画会議で協議した事項の報告を中心に、職員の意見を聴き、共通理解を図る。また教材の工夫・実技研修を行いました。
- ・参加は、キッズの全職員及び本部長、本部顧問
- ・教材の研究と発表しました。
- ・毎月第二月曜日 9:00～12:00 に行いました。

1 1 主な行事（プログラム）

月	実施内容（プログラム）
4	マイクリアファイル作り・手作りマスク・キッズシアター・新入生歓迎会・わたがし作り・石鹸作り・ヘアアレンジ教室・宝探し
5	キッズシアター・マクドナルド交通安全教室・マイハシ作り・マジックショー・クレープ屋さん・アイロンビーズ・ドラゴンボール天下一武道会・プラバン作り・ストローフルート作り・ジャンボ海苔巻き作り・科学実験教室・時計作り
6	上菅田キッズ交流会・スライム作り・春の運動会・キッズシアター・サマーランプ作り・消防防災教室・ステンドグラス風コースター作り・ハンドスピナー作り・SDW リフティングパフォーマンス・キッズフェスタ・流しそーめん
7	七夕かざり・ビーズストラップ作り・図工週間&youtuber になろう・めざせクッパ城・キッズシアター・遠足顔合わせ・避難訓練・キッズチャレンジ・虫とり大会・スイカ割り
8	バス遠足・水遊び・ケアプラザ訪問・図工週間・&youtuber になろう・きもだめし（上菅田キッズ合同）・おおそうじ・上菅田キッズ交流会・くじ引き大会・キッズチャレンジ
9	図工週間&youtuber になろう・避難訓練・キッズ縁日・キッズシアター・メモスタンド作り・キッズチャレンジ・キッズ秋の運動会 ツサッカー・キッズシアター
10	遠足顔合わせ・Let's サッカー・図工週間&youtuber になろう・Let's ボウリング・アイロンビーズ・将棋遊び・キッズチャレンジ・キッズシアター・ハロウィンパーティー
11	いろいろ小物入れ作り・たこ焼き屋さん・キッズシアター・図工週間&youtuber になろう・ポケモンカードバトル・キッズチャレンジ・Let's バスケとボール
12	卓上カレンダー作り・クリスマスキャンドル作り・図工週間&youtuber になろう・キッズチャレンジ・キッズシアター・クリスマス会・おおそうじ・分水路見学会&紙芝居
1	タコ作り・ワッフル屋さん・図工週間&youtuber になろう・ミニ黒板作り・キッズチャレンジ・お面作り・キッズシアター
2	豆まき・プラバン作り・キッズ冬季オリンピック・チョコ作り・キッズシアター・図工週間&youtuber になろう・キッズチャレンジ・ピンクシャツ DAY

3	キッズシアター：youtuber 祭り・新入生プレゼント作り・6年生卒業祝い飾り・卒業遠足・キッズチャレンジ・上菅田キッズ合同遠足・千丸台保育園交流会
---	---

1 2 保護者関係

- ・保護者会規約に沿って年 2 回（9 月・2 月）開催、感想、要望等意見交換しました。（保護者会開催報告書）を作成し区子ども家庭支援課へ提出）

1 3 学校との連携

- ・授業参観へのキッズ職員の参加と教職員のキッズ行事への参加
- ・情報交換の為キッズ職員会議への校長が児童専任の参加していただきました。
- ・主任と副校長が、日常の連絡、報告等密に行いました。

1 4 地域関係

- ・地域育成者交流会（地域主催）参加（1 月・6 月 キッズ職員、法人）
- ・新井小学校放課後キッズクラブ評議員会規約に沿って年 2 回開催しました。

1 5 防災対策・防犯対策

- ・避難訓練等
- ・火災避難訓練
- ・地震避難訓練
- ・防犯訓練
- ・下校訓練
- ・AED 講習（職員上級救命講習受講）
- ・定期的な下校指導 を実施いたしました。

1 6 広報関係

- ・日常の活動をビデオ等で撮影し、保護者会等で視聴していただきました。
- ・キッズ便りの発行（月 1 回）いたしました。

1 7 その他

- ・校外活動として 8 月にバス遠足（八景島シーパラダイス）
- ・10 月に川崎グランドボウル（ボウリング）に行きました。

- ・ 17：00 以降の手作りおやつの提供を月曜日にし、クラブ活動を開始いたしました。

【月曜：自由】【火曜：そろばん】【水曜：遊び】【木曜：そろばん】【金曜：習字】

- ・ がやっこ学び育み事業（キッズアカデミー）毎週水曜日に開催し、2 年生から 6 年生が参加しました。講師は 1 名。
- ・ 新井中学校生徒の夏季休業中のボランティア活動の受け入れを行いました。
- ・ 新井中学校 2 年生（1 名）がキッズクラブのボランティア登録を行い、週 2 日活動しました。
- ・ 夏季休業中に白山高校生徒のボランティアを受け入れました。
- ・ 地域の活動として、駅伝大会やお祭りに参加すると共に近隣の愛護会の方にキッズクラブのイベントに参加して頂きました。

キッズシアター
4/24（水）

今月は「ポケットモンスターみんなの物語」を上映しました。

感想

1 年生
ルギアが術を助けたのが
すごかった

キッズだより **5月**

令和 1 年 5 月 9 日
社会福祉法人 長幼会
新井小学校放課後キッズクラブ
tel/fax 045 (382) 3051
cyoyoukai_kids@yahoo.co.jp

怪我を減らすために

満開の桜は散り、爽やかな新緑の季節となりました。早いもので入学、通園から 1 か月が過ぎました。日々過ごす中で抱えにあった子どもたちの様々な不安や緊張が少しずつ和らいできたように感じます。4 月から 6 月の期間、キッズクラブは多くのイベントを行っていきます。子どもたちの参加も増えますので、この機会に新しいお友達作りの場として活用してください。

キッズクラブでは、遊びを開始する前に遊びの中でどのような場所に怪我をする可能性があるのか、危険があるのかをお話をします。子どもたち自身が、遊びの中の危険をしっかりと把握し、意識することで未然に怪我を防ぐことが出来ます。毎日お話していることから子どもたちも意識して活動をしてくれるようになり、怪我の件数は減少しました。これからの遊びの中で自分の身を守る方法や術を学んで、大きな事故や怪我なく元気に楽しく過ごして欲しいと思います。

マスク作り
4/11（木）～4/12（金）



ヘアアレンジ教室
4/17（水）



宝探し
4/22（月）～4/23（火）



わたがし作り
4/25（木）～4/26（金）



給食作り
4/15（月）～4/16（火）



【新井小学校放課後キッズクラブ キッズ便り】